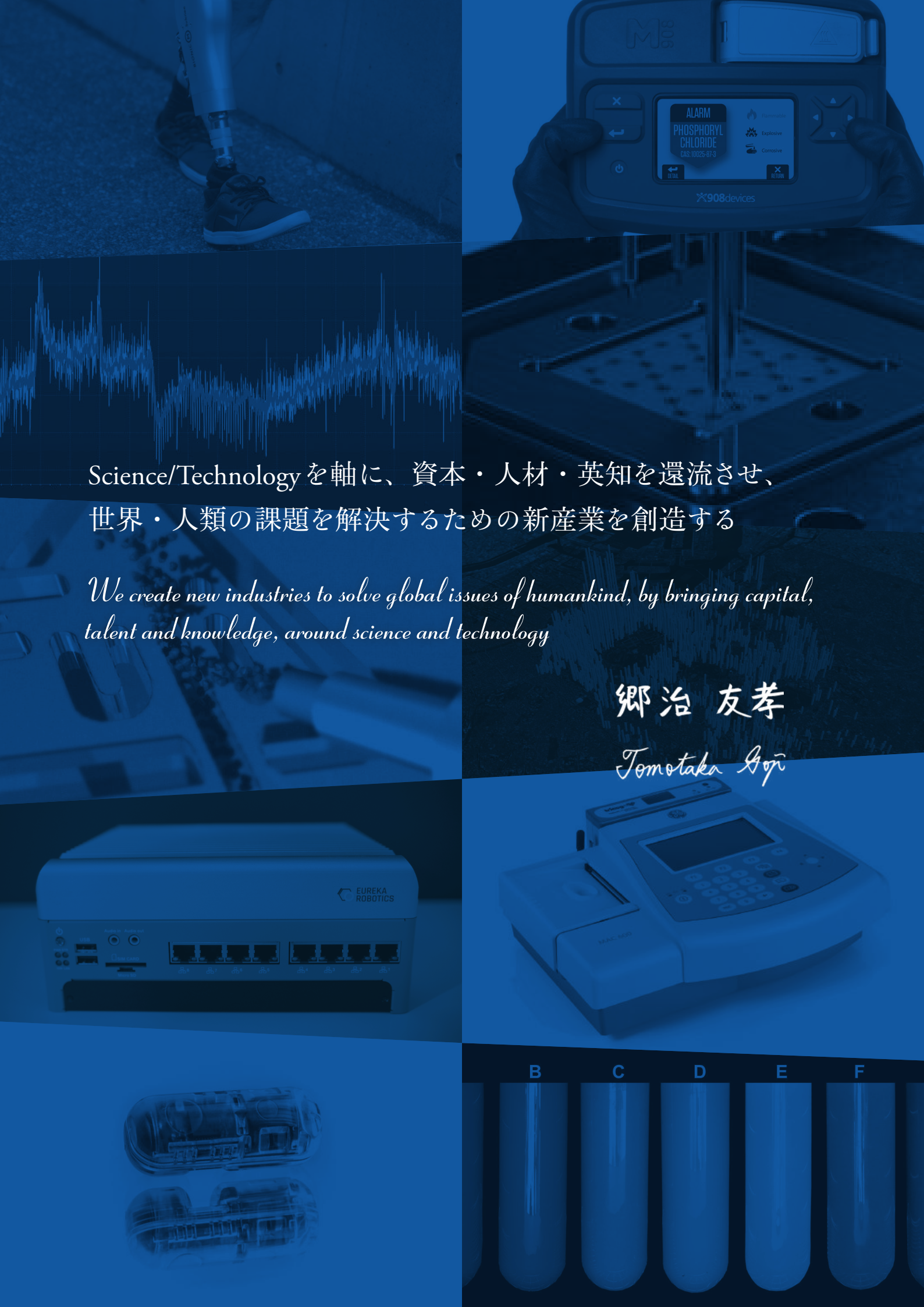




Co-Founders of Innovation



Science/Technologyを軸に、資本・人材・英知を還流させ、
世界・人類の課題を解決するための新産業を創造する

*We create new industries to solve global issues of humankind, by bringing capital,
talent and knowledge, around science and technology*

郷治 友孝

Tomotaka Gōji

優れた Science/Technology

- 軸となる東京大学に加え、全国の大学、研究機関、企業、政府と連携し、インパクトのある技術をソーシング
- 必要に応じて組織を超えてテクノロジーをロールアップ

強力なチーム

- テクノロジーを活かした事業を強力に推進できるプロフェッショナルマネジメントを重視
- 製品開発・オペレーション・管理面においても強力なチームを構築

グローバルな 市場や課題

- 設立当初からグローバル市場を視野
- 全人類的な課題の解決を志向

主な実績



2011年7月
東証マザーズ上場*



2011年9月
株式会社ミクシィがM&A



2013年2月
Google, IncがM&A



2013年6月東証マザーズ上場
2015年12月東証一部上場**



2015年5月
パイドゥ株式会社がM&A



2017年9月
香港上場O Luxe HDと資本提携



2018年12月
東証マザーズ上場*



2019年2月
MBO



2019年12月
東証マザーズ上場*



2020年8月
東証マザーズ上場*



2020年12月
米国 Nasdaq 上場



2020年12月
Cox Automotive Inc. がM&A



2021年12月
東証マザーズ上場*



2021年12月
東証マザーズ上場*



2021年12月
東証マザーズ上場*



2021年12月
東証マザーズ上場*



2022年5月
Eurofins Scientific SE がM&A



2022年6月
東証グロース上場



2022年12月
東証グロース上場



2023年2月
Moderna, Inc. がM&A



2023年6月
東証グロース上場

* 市場区分見直しに伴い、現在は東証グロース市場に上場

** 市場区分見直しに伴い、現在は東証プライム市場に上場

UTECについて

2004年以来、総額で847億円規模の5つのファンドを組成

- ▶創 業 2004年4月1日
- ▶運営会社 株式会社東京大学エッジキャピタルパートナーズ
- ▶運営する投資事業有限責任組合(ベンチャーキャピタルファンド)

UTEC 5号投資事業有限責任組合

設 立2021年5月7日
無限責任組合員(GP)UTEC Partners 有限責任事業組合
規 模約304.1億円
投資先38件 (保有中38件)

UTEC 4号投資事業有限責任組合

設 立2018年1月17日
無限責任組合員(GP)UTEC Partners 有限責任事業組合
規 模約243.1億円
投資先36件 (保有中27件、上場4件、M&A等2件)

UTEC 3号投資事業有限責任組合

設 立2013年10月15日
無限責任組合員(GP)UTEC 3 Partners 有限責任事業組合
規 模約145.7億円
投資先31件 (保有中7件、上場4件、M&A等5件)

UTEC 2号投資事業有限責任組合

設 立2009年7月31日
無限責任組合員(GP)UTEC、UTEC Venture Partners 株式会社
規 模約71.5億円
投資先13件 (上場3件、M&A等5件)

ユーテック一号エグジット投資事業有限責任組合

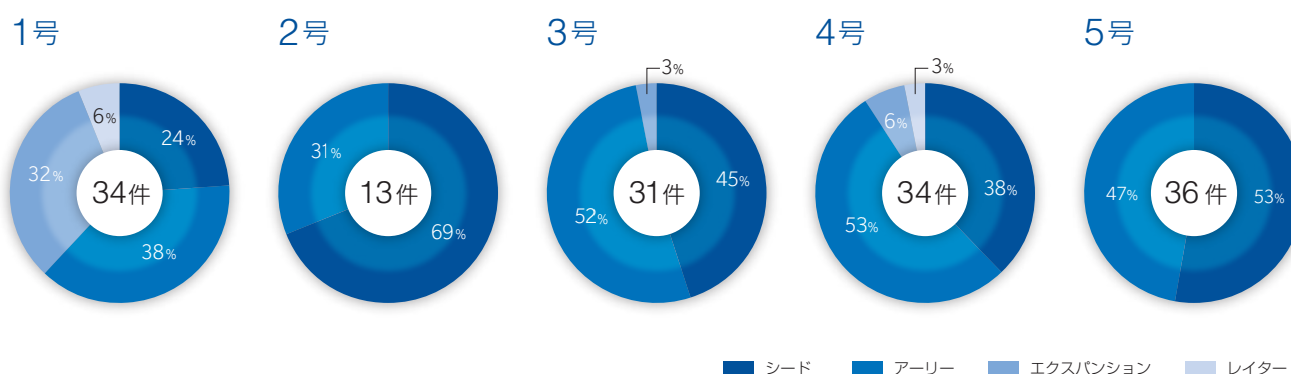
設 立2004年7月1日
無限責任組合員(GP)UTEC
規 模約83億円
投資先34件 (上場9件、M&A等8件)

シード・アーリーをメインとした 総合的なサポート

UTEC の投資対象は、会社設立前を含むシード・アーリー段階のスタートアップ

初回投資時のフェーズ※1,※2

件数ベース／％



※1 フェーズの定義については、2024 National Venture Capital Association Yearbookを基準としている

※2 2024年3月時点。ただし、複数ファンドより並行投資している案件は各々のファンドでカウント (FoF 出資は除く)

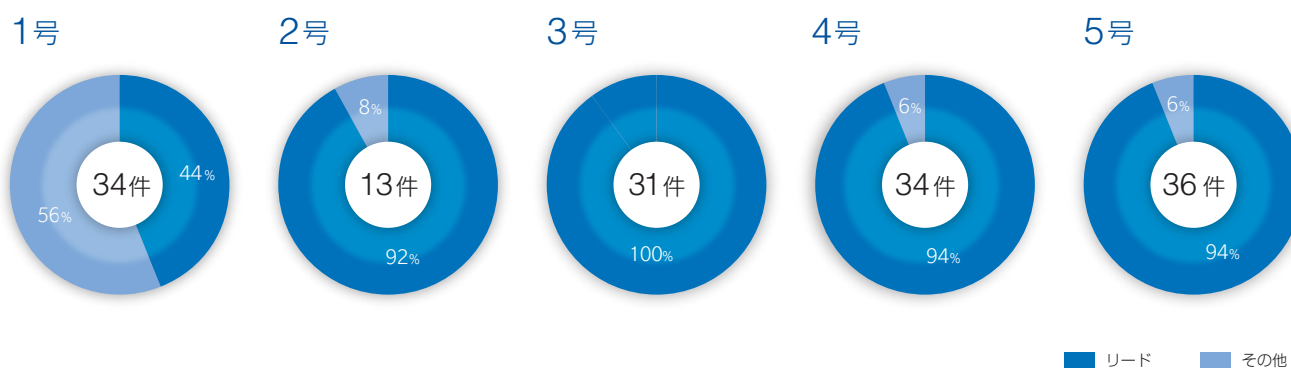
強いコミットメント

リード投資家として、投資先の経営・ファイナンス面を支える

※ほとんどの投資先に対して、リード投資家として取締役や監査役を派遣し、積極的にバリューアップ・経営支援

リードポジションの割合※1,※2

件数ベース／％



※1 過去のファイナンスにおいてリードポジションを取ったことがある、取っている件数の割合

※2 2024年3月時点。ただし、複数ファンドより並行投資している案件は各々のファンドでカウント (FoF 出資は除く)

グローバル展開

大学・研究機関との連携及び ポートフォリオのグローバル進出

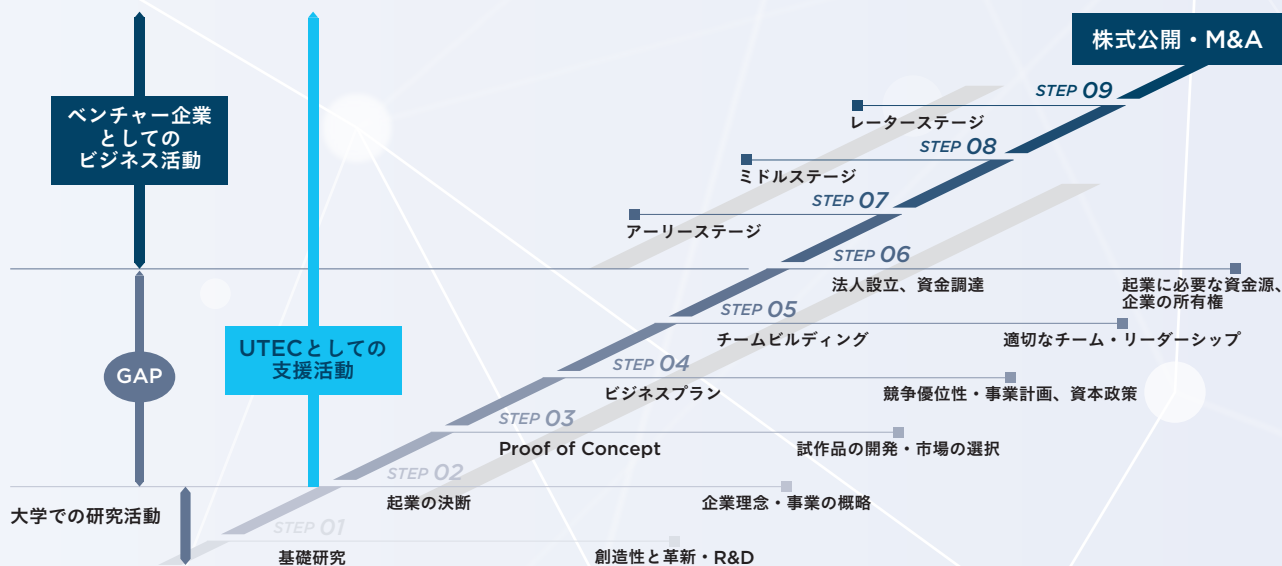
投資先拠点



Network



UTECの投資・支援



Sponsorship

大学へのスポンサーシップ

UTECは2017年以降、東京大学の26のプロジェクトのスポンサーシップを開始し、研究者や学生へのサポートを強化。ベンチャーキャピタル事業の成果をもとに、東京大学をはじめとした大学・研究機関等へのサポートを拡充しております。



東京大学基金 UTEC 東京大学未来社会協創基金
UTEC-UTokyo FSI Research Grant Program

本部 産学協創推進本部
GAP ファンドプログラムの運営、特許出願等手続の充実

研究推進部
東京大学卓越研究員支援

教育・学生支援部
スポーツ振興基金・運動部器具備品基金
UTEC 東京大学奨学金
UTokyo Alumni Giving Campaign 2021

医学部附属病院
学術研究助成
トランスレーショナル・リサーチ・イニシアティブ (TR 機構)

大学院法学政治学研究科
法・政治分野における先端的科学技術の活用と分野融合研究のため

大学院医学系研究科
ライフイノベーション・リーディングプログラム

大学院工学系研究科
リーダー博士人材育成基金
自分で守る健康社会 COI 拠点：医療技術評価実験室関連寄附基金
Deep Learning 人材育成基金
社会構想マネジメントを先導するグローバルリーダー養成プログラム (GSDM) の人材育成及び研究基盤強化
ブロックチェーン・イノベーション寄附講座
アントレプレナーシップ教育デザイン寄附講座

大学院理学系研究科
理学若手未来基金

大学院農学生命科学研究科
農学創発基金 (若手研究者支援事業)

大学院経済学研究科
金融教育研究センター助成金
マーケットデザイン研究助成金

大学院薬学系研究科
薬学若手研究支援

大学院新領域創成科学研究科
新領域研究助成金 (河野重行 東京大学名誉教授)
新領域創成科学研究教育振興基金

大学院情報理工学系研究科
情報理工学系研究基盤整備プロジェクト
次世代知能科学研究センター

医科学研究所
若手研究者育成プロジェクト

生産技術研究所／先端科学技術研究センター
駒場リサーチキャンパス・若手海外自由展開・研鑽支援プログラム



学術研究・産学官連携推進本部
大学発ベンチャー応援事業 Tongali プロジェクト



京都大学 産官学連携本部
若手研究者による挑戦的な新素材の研究のため



国際物理オリンピック 2023 日本大会
Sapphire Supporter



工学研究院
インテリジェント飛行寄附講座



大阪大学共創機構
共創機構若手研究者基礎研究振興助成金

投資先企業

Life Science & Healthcare p8-13

五稜化薬株式会社	セレイドセラピューティクス株式会社
エディットフォース株式会社	ユナイテッド・イムニティ株式会社
タグシクス・バイオ株式会社	株式会社 PURMX Therapeutics
Tricog Health Pte. Ltd.	株式会社 Elixir Pharma
Elixirgen Therapeutics, Inc.	株式会社セルージュン
ImmunoScape Pte. Ltd.	レグセル株式会社
Bugworks Research, Inc.	Sola Biosciences, Inc.
bitBiome 株式会社	Violet Thetapeutics, Inc.
株式会社メトセラ	Red Arrow Therapeutics, Inc.

IT p14-24

WASSHA 株式会社	株式会社クウゼン
株式会社お金のデザイン	Sinummy 株式会社
株式会社レトリバ	Obviously AI, Inc.
スタートバーン株式会社	スタジオアンビルト株式会社
株式会社ティアフォー	株式会社 Alumnote
株式会社 obniz	株式会社 ALGO ARTIS
SWAT Mobility Pte. Ltd.	forest 株式会社
株式会社 estie	株式会社メドコム
株式会社アダコテック	boost technologies 株式会社
株式会社 ROMS	ONIGO 株式会社
VividQ Limited	株式会社 ARCH
OpalAI Pte. Ltd.	XMile 株式会社
TXP Medical 株式会社	Eureka Robotics Pte. Ltd.
株式会社 Capex	株式会社 Cordia Directions (Peach Cars)
株式会社 HashPort	株式会社 Quanmatic
株式会社 DATAFLUCT	issin ホールディングス株式会社

Physical Science & Engineering p26-30

株式会社アルガルバイオ	EnteraSense Limited
BionicM 株式会社	株式会社 Gaianix
Nelumbo, Inc.	Liminal Insights Inc.
SUN METALON Inc.	Ubifly Technologies Private Limited (ePlane)
Kepler 株式会社	Oxford Quantum Circuits Limited
株式会社 RICOS	株式会社 TriOrb
Charco Neurotech Ltd	

Fund p32-33

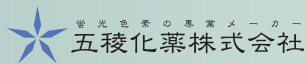
Deep30 投資事業有限責任組合
BLUME VENTURES-FUND III /Blume Ventures GIFT TRUST IV
Amadeus V Technology Fund LP

アラムナイ p34-39

Team p40-46

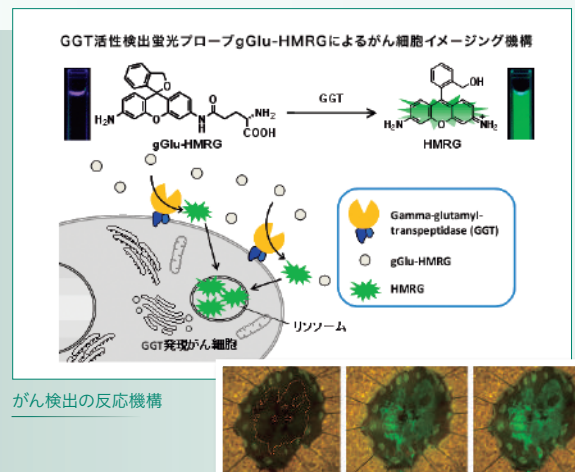
社外役員 p47

五稜化薬株式会社



日本発のがん術中迅速診断のためのナビゲーションドラッグの開発

- Q1** ケミカルバイオロジーを駆使した創薬支援のための研究試薬開発や蛍光プローブの医療応用を目指し、北海道大学の知財を活用して2010年7月に札幌で創業
- Q2** 創業後、東京大学の浦野泰照研究室が開発した蛍光色素や診断薬のプラットフォーム技術を導入することができたこと、並びにそれら色素の効率的な合成能力を自社に保有していること
- Q3** 東京大学への紹介、事業計画の構築及び資金調達や人材紹介などのハンズオン支援



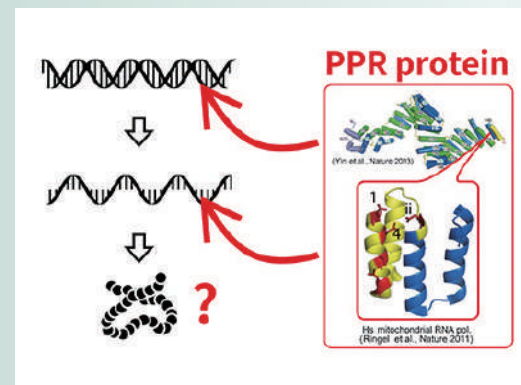
ヒト食道がんESD摘出検体にEP-HMRGをスプレーする前(左)とスプレーした後5分(中央)、スプレー後10分(右)の色調変化。(がん部位は左写真の点線で示した部位。中央付近の緑に光っている部位がEP-HMRGによる蛍光シグナル)

エディットフォース株式会社



日本発のゲノム編集技術を通じて国内外の創薬、農業、物質生産の産業革新に貢献する

- Q1** 海外で先行するZFN、TALEN、CRISPR等のゲノム編集技術に対し、日本発のゲノム編集技術を事業化すべく、九州大学の中村崇裕准教授が発明したPPR技術をコア技術として2015年5月に設立
- Q2** PPR技術はゲノム編集の主流であるDNAのみならず、その下流であるRNAの認識が可能。DNA/RNAの両方が編集可能な世界初のゲノム編集ツール。競合技術では困難なRNA編集技術に基づくRNA創薬などの事業展開が可能
- Q3** 事業計画のブラッシュアップや経営人材及びパートナー等の紹介。IPOやM&Aなどのエグジット体制構築支援



PPRがDNA/RNAに作用する模式図

タグシクス・バイオ株式会社



効果が高く安全かつ低コストな核酸医薬品を創出し、医療経済界に改革をもたらす

- Q1** 「人工塩基対技術」の普及と幅広い分野での実用化を目指して、元・理化学研究所合成分子生物学研究チームリーダーの平尾一郎氏を中心となり2007年3月に創業。2016年より、創薬開発を主事業として活動開始
- Q2** 独自開発の創薬探索技術を用いて、核酸医薬品(Xenologo™)を効率よく創り出すことができる。Xenologo™の標的物質に対する高い親和性と高い選択性、独自開発の安定化技術が強い
- Q3** 経営体制の構築や資金調達、事業提携などのサポート



疎水性の塩基Dsを含むXenologo™と、標的タンパク質との結合

Tricog Health Pte. Ltd.

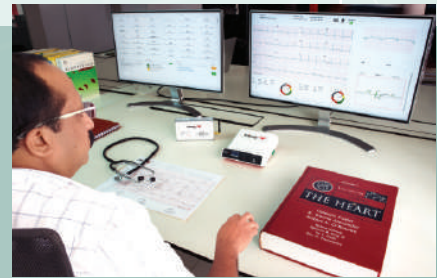


効率的・迅速な循環器関連のAI解析により、新興国における心臓病関連の死亡者を減らす

Q1 インドにおいて循環器の医師として経験豊富なCEOのDr. Charit Bhograjが、多くの患者が適切な治療を受けるまでに時間がかかってしまっていることに強い危機感をおぼえ、IBM出身でUCLAの博士号を持つDr. Zainul Charbiwalaと共に2014年に創業

Q2 インド・東南アジア・アフリカを中心にこれまで1,600万人以上の診断を実施。AIを活用した心電図、遠隔心臓超音波診断、心不全向け製品を含む循環器関連プラットフォームを提供。主要な医療機器メーカー・製薬企業と連携したサービスを展開

Q3 経営・ファイナンス面のアドバイス、事業拡大に向けた日本の医療機器メーカーの紹介や同メーカーからの戦略的投資等の促進



AI解析はあくまで医師の診断サポート



アジア・アフリカを中心に幅広く展開



機器は後付け可能。
医療現場の導線は不変

Elixirgen Therapeutics, Inc.

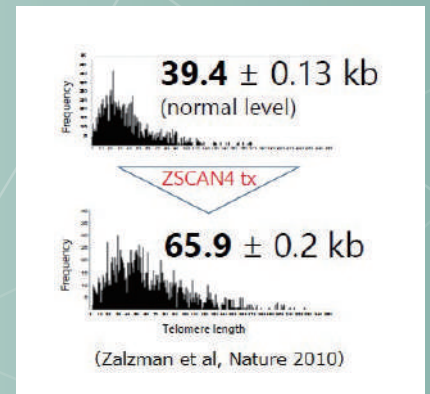


ZSCAN4を用いた細胞治療法による希少疾患の治療を目指す

Q1 慶應義塾大学洪実教授が米国NIH（米国国立衛生研究所）時代に発見した遺伝子ZSCAN4の臨床応用をすべく2018年5月に起業

Q2 ZSCAN4遺伝子が幹細胞のゲノム安定性を高めテロメアを伸長するという発見に基づく。ZSCAN4を、ゲノムを障害しないより安全なRNA治療薬の形で造血幹細胞などの細胞に導入する技術を開発。米国FDAとのPre-INDを終了し、先天性角化不全症を含むテロメア病の早期臨床試験を目指す

Q3 臨床試験にむけての加速資金、企業・投資家・人材などへのネットワーキング機会、IPOに向けた体制構築の支援などの提供



ZSCAN4によるテロメア伸長の例

ImmunoScape Pte. Ltd.

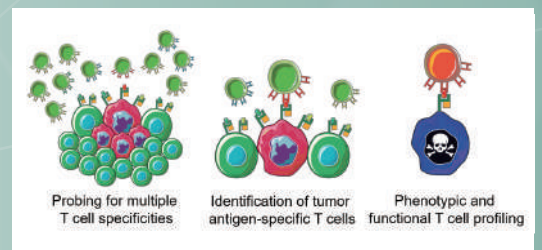


Enabling immunotherapy through high-dimensional immune profiling

Q1 A*STAR Singapore Immunology NetworkのEvan Newell博士らによって開発された免疫プロファイル技術を活用し免疫療法の発展及び治療法の確立に貢献するため2016年12月に起業

Q2 マスサイトメーターを用いて免疫プロファイルを解析できる世界唯一の会社。特に抗原特異的T細胞を網羅的に解析することで新規抗原やバイオマーカーを開発し、開発中の免疫療法の有効性・安全性を高める

Q3 グローバルな事業開発の支援、東京大学をはじめとする日本アカデミアとの連携支援、経営体制・チーム強化



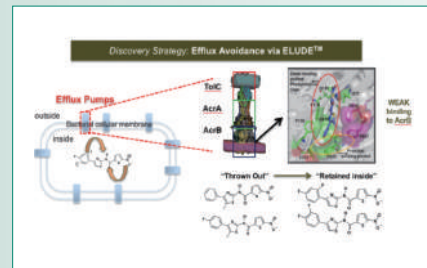
Immunological insights provided by ImmunoScape



Map of immune response landscape

Bugworks Research, Inc.

薬剤耐性菌に効力をもつ新規抗生物質及び新規がん免疫治療薬の開発



Proprietary ELUDE™ platform of Bugworks

Q1 製薬業界での豊富な経験を有するDr.Anand Anankumar、Dr. Santanu Datta、Dr. V Balasubramanianのチームが抗菌剤耐性 (Anti-microbial Resistance (AMR)) の世界的課題を解決するため、2014年1月に創業。2017年7月には権威あるCARB-X grantにアジアで初めて選出された。インドのバンガロールに研究室を有し、創業分野で豊富な経験を有するPh.D取得の研究者チームを擁し、米国、日本、英国、豪州に拠点を拡大

Q2 GYROXは広域の抗菌作用をもつ first & best-in-class の化合物で、リード化合物 BWC0977 は豪州で Phase 1 試験を実施中。DARE (2種のアデノシン受容体への阻害作用) を有する新規がん免疫低分子化合物を保有

Q3 協業機会提供のための国内製薬会社への紹介や多剤排出トランスポーター AcrB の結晶構造を解明した東京工業大学村上聡教授のサイエンティフィックアドバイザーとしての紹介及び財務管理や資金調達の支援

bitBiome 株式会社

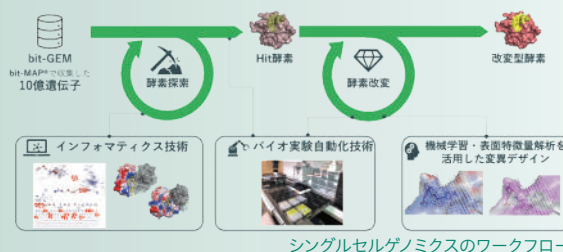


未知の微生物からバイオものづくり産業を創出する

Q1 早稲田大学細川正人准教授が開発したシングルセルゲノミクス技術に基づき、UTEC 協力のもと、次世代マイクロバイオーム解析を活用した新産業の創出を目指し 2018 年 11 月に起業

Q2 世界で初めて微生物に適合したシングルセルゲノミクス技術を確認し、従来解析困難であった微生物ゲノムデータの蓄積が可能となった。従来技術と比較してデータ精度と情報量が圧倒的に優れている。また、最先端のインフォマティクスとロボティクスを活用した高効率の実験設備を備え、製薬、化学、食品業界を中心に酵素探索・改変をはじめとするバイオものづくり分野および微生物ゲノム解析分野で同社のみが提供する共同研究・受託解析サービス、および自社開発事業を展開中

Q3 創業期からの事業計画、知財戦略、チームビルディングなどのサポート



シングルセルゲノミクスのワークフロー

株式会社メトセラ



心不全治療に、革命を起こす

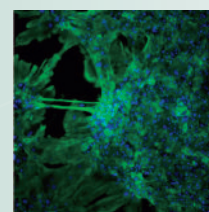
Q1 東京女子医大博士課程での岩宮貴紘氏の心臓線維芽細胞に関する研究成果の事業化を目指し、外資系投資銀行やスタートアップで経験を積んだ野上健一氏との2年の助走期間を経て、2016年3月に二人で共同創業

Q2 自家の非幹細胞を用いることによる高い有効性と安定して低コストな製造法、独自のマッピング及びデリバリーデバイスを用いた心筋組織への正確で安全な投与、動物での高い有効性データ及び自社研究によるメカニズムの解明

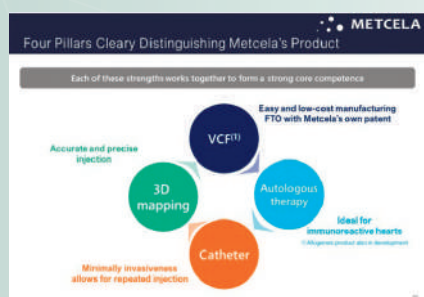
Q3 IPOを見据えたファイナンス戦略、人材採用支援等



ヒト心臓線維芽細胞



心筋細胞とVCFを共培養すると密接なネットワークが形成されることを確認



メトセラの4つの強み

セレイドセラピューティクス株式会社



ヒト造血幹細胞増幅技術を用いて次世代の細胞治療法の開発を目指す再生医療ベンチャー

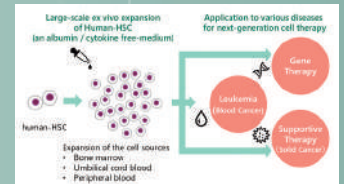
- Q1** 液体のりの成分であるPVAを用いたマウス造血幹細胞の体外での大量増幅技術の確立に成功した筑波大学山崎聡教授、東京大学医科学研究所中内啓光特任教授(スタンフォード大学教授)が、細胞治療領域でのヒトへの臨床応用を目指し設立
- Q2** アルブミン・サイトカインのような生物由来物質が使用され、再現性が低く品質管理が困難、原材料が高コストといった問題をかかえる従来の細胞増幅法に対し、アルブミン・サイトカインフリー培地にてヒト造血幹細胞の体外増幅を可能にすることで品質管理もやコストの課題を解決。また、骨髄・さい帯血・末梢血など細胞ソースによらず造血幹細胞を増幅でき、様々な疾患への応用が期待できる
- Q3** 技術の革新性への理解、事業化につなげたシード期からの資金支援。事業戦略や開発計画の策定支援、人材の探索や紹介、法務・知財面の支援



マウス造血幹細胞の体外での大量増幅に成功



ヒト造血幹細胞の体外での大量増幅に成功



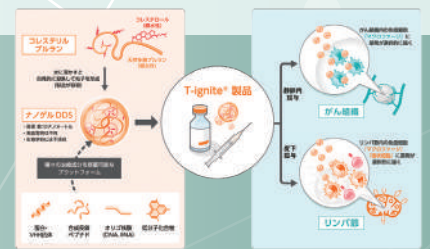
細胞ソースを選ばず増幅可能であり、様々な疾患への応用が期待できる

ユナイテッド・イミュニティ株式会社

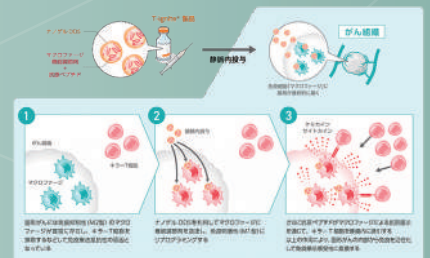


ナノテクノロジーと免疫療法の融合技術で、
難治性がんの克服に挑む

- Q1** 三菱化学・三重大学等でがん免疫領域での創薬研究を25年行ってきた創業科学者の原田直純氏が、京都大学秋吉一成教授のナノゲル工学研究成果を活用したがん免疫治療薬の実用化を目指し、2017年11月に起業
- Q2** 糖と脂質で100ナノメートルの粒子を作成し、内部に低分子化合物、核酸、タンパク質を搭載できる独自のナノカプセル技術により、体内に存在する免疫細胞に対し選択的・効率的に医薬成分を届けることが可能。がんをはじめとする様々な疾患を対象とした治療法開発が可能
- Q3** 研究開発計画への助言、コーポレートガバナンスの整備、経営人材の採用といったハンズオン支援



T-ignite® 技術の概要



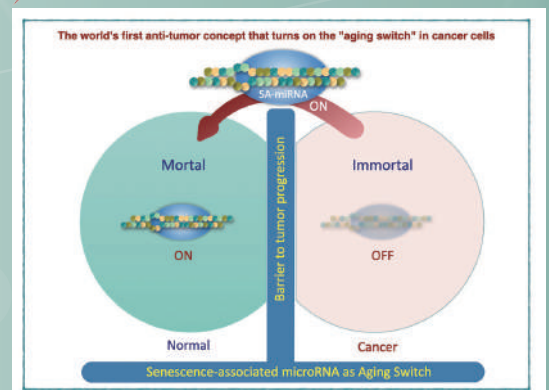
静脈注射によるマクロファージターゲティング

株式会社 PURMX Therapeutics



天然型マイクロRNA医薬品の開発により難治性疾患患者を救う

- Q1** 広島大学田原栄俊教授が、老化に関わるマイクロRNAの抗腫瘍効果を発見し、RNAの機能性スクリーニング系を独自に開発。効能の高いマイクロRNAを本格的に臨床開発する段階へと至ったため起業
- Q2** マイクロRNAは多数の遺伝子を標的とした薬効を発揮するため、単一遺伝子を標的とする既存の抗腫瘍薬で課題の薬剤耐性を克服しうる可能性を有する
- Q3** 広島大学における基礎研究の早期段階からのハンズオンでの事業化支援、特に医薬品開発のための知財化や経営人材の採用において貢献



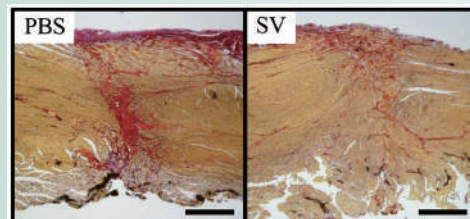
細胞老化マイクロRNAによる抗がん治療

株式会社 Elixir Pharma

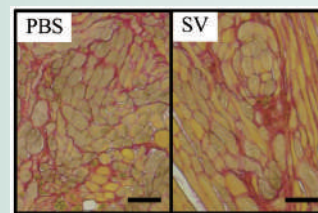
老化による歩行機能低下を解決する医薬品創出による
「活動的な健康長寿社会」の実現



- Q1** 生体内の骨基質蛋白質として知られるオステオポンチンの一部分が筋肉再生機能を持つことが大阪大で発見され、筋肉の萎縮や断裂に対する治療剤として開発に取り組むに至り、2020年8月に創業
- Q2** 骨格筋衛生細胞を活性化させる機能性ペプチド技術、及びその応用力。筋肉の減少や損傷、線維化などを伴う様々な疾患への適応の可能性
- Q3** GLP 毒性試験の具体化及び組織体制の強化に繋がるファイナンス支援、事業展開の加速につながる幹部人材採用などの支援



SV ペプチドは瘢痕形成を抑制する



Tanaka S et al (2019) Peptides116, 8-15

SV ペプチドは筋繊維を太くする

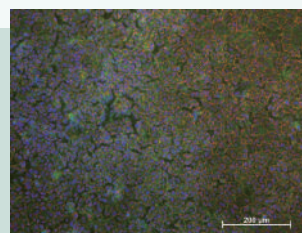
株式会社セルージョン



CELLUSION

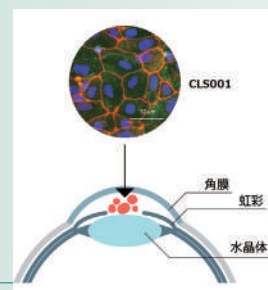
角膜移植の限界を超える技術で世界の視界を良好に

- Q1** 角膜移植医として臨床現場の課題を熟知した羽藤晋氏が、慶應義塾大学の博士課程で取り組んだ角膜再生医療に関する研究成果の事業化の為、同大学の坪田一男教授、榛村重人准教授(当時)と2015年1月に共同創業
- Q2** iPS細胞から角膜内皮代替細胞へ直接的に分化誘導させる簡便かつ効率的な独自製法を確立。他家iPS細胞ストックを原料に用いることで堅牢製法、安定品質、実用的な製造原価を実現。凍結保存法の確立により細胞製品におけるoff-the-shelf化製剤を実現
- Q3** IPO 含めたファイナンス戦略、人材採用支援等



iPS細胞由来
角膜内皮代替細胞

細胞移植法による
角膜内皮治療

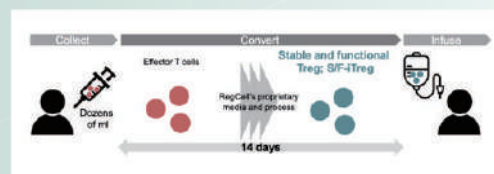


レグセル株式会社

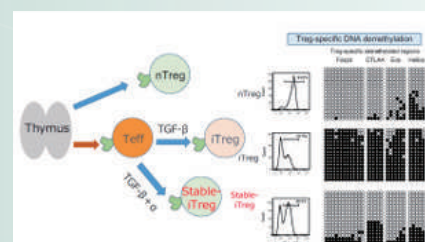
制御性T細胞を用いた革新的な免疫療法で、
アンメットニーズの克服に挑む



- Q1** 大阪大学、京都大学教授で、制御性T細胞(Treg)の発見者である坂口志文先生の研究成果で社会に貢献すべく起業
- Q2** 安定性、機能性、安全性、抗原特異性において他社のTreg 関連技術に対して優位性のあるepigenetically reprogrammed-Treg (S/F-Epigen-Treg)の作成技術を有する。S/F-Epigen-Treg は、高レベルのTreg 機能誘導分子の発現及びTreg 特異的なクロマチンリモデリングを達成し、機能的安定性を実現
- Q3** チーム組成、事業開発、資金調達、海外展開など多面的なハンズオン支援



炎症性T細胞をTregに変換する細胞治療のコンセプト



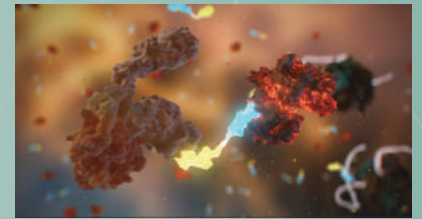
S/F-iTreg のTreg 特異的なDNA低メチル化

Sola Biosciences, Inc.

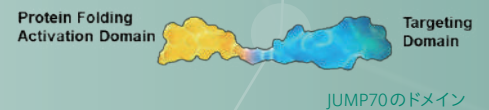


神経変性疾患に対する遺伝子治療を開発

- Q1** Strategiaの創業経験を有する古屋圭三CEOと、Boston Biomedical Research Institute等で10年以上シャペロンの研究経験を有する菱谷彰徳CSOの2名で2016年に創業
- Q2** 神経変性疾患の原因となる凝集・変性タンパクの正常化・分解を可能とするJUMP70プラットフォームを保有。同プラットフォームは、疾患原因タンパク質とタンパク質の折り畳み機能や分解機能を担うHSP70タンパク質とを近接し、活性化させるAAVによる遺伝子治療。リードパイプラインは、TDP-43の凝集を分解抑制するALSの治療薬の開発
- Q3** 米国でのサイエンティフィックアドバイザーや遺伝子治療の専門家の紹介、国内外のVCへのピッチ・資金調達支援、製薬会社への事業開発支援、特許戦略支援



凝集タンパクとHSP70をエンゲージさせるJUMP70



JUMP70のドメイン

Violet Therapeutics, Inc.

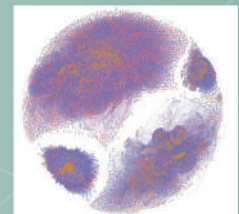


細胞間相互作用トランスクリプトーム解析により難治性疾患の新たな創薬標的を見出す

- Q1** Brigham and Women's Hospital、Harvard Medical SchoolのFrancis Quintana教授が開発した細胞間相互作用トランスクリプトーム解析技術RABID-seqの実用化のため起業した創薬スタートアップ
- Q2** 疾患形成において細胞間の相互作用は重要な役割を果たしているが、これまでその分子メカニズムは十分に解明されていなかった。同社のRABID-seq技術は、物理的な近接に依存せず、生理的に相互作用している細胞同士のクロストークの網羅的な解析を可能とする。同技術により神経炎症領域等で新たな創薬標的候補分子の発見が期待される
- Q3** パイプライン開発に資する国内の共同研究先探索支援



従来のトランスクリプトーム解析



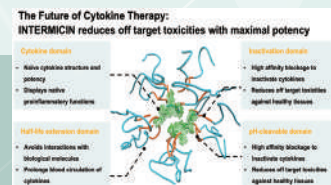
RABID-seqを用いたクロストーク解析

Red Arrow Therapeutics Inc.

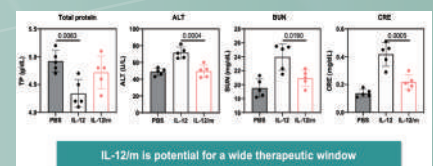


ナノメディシンの可能性を最大限に引き出し、「治らない治療」の実現を目指す

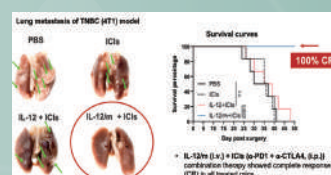
- Q1** 東京大学大学院工学系研究科博士で高分子医薬品デリバリーシステム専門家のCEO宮崎拓也氏と同研究科のHoracio Cabral准教授が2021年8月に共同創業
- Q2** 同社が開発したINTERMIGINは、IL-12を封入したpH感受性のある高分子ミセルで腫瘍内のpHを感じてIL-12を放出し、腫瘍微小環境におけるエフェクター免疫細胞の浸潤と活性を増加させるものであり、IL-12の全身毒性も克服。現在の前臨床データでは、INTERMIGINは単剤及び免疫チェックポイント阻害剤との併用で、様々な腫瘍モデルにおいて強い抗腫瘍効果を示している
- Q3** 創業前からの継続的なチーム組成、事業計画、ファイナンス面での支援



INTERMIGINは標的外毒性を軽減



INTERMIGIN (IL-12/m)はネイティブのIL-12と比較して毒性が低い



INTERMIGIN (IL-12/m)は免疫チェックポイント阻害剤との併用で、強い抗腫瘍効果を発揮

WASSHA 株式会社



Power to the People: 途上国に「電気のある暮らし」を届ける

- Q1** CEO 秋田智司氏が、電化市場のポテンシャル、社会的意義及び規制の観点から、東アフリカで事業開始。CEO 秋田氏と阿部力也東京大学特任教授(当時)の2名により2013年11月に共同創業
- Q2** アフリカの地方部に点在するキオスク(小規模店舗)と連携し、5,000か所程度に自社の太陽光パネルとランタンを配置。タンザニア・ウガンダ、モザンビーク等、現地メンバーと密接に連携したオペレーション、日本を中心とした大企業との連携、事業の実行力が強み
- Q3** 創業期からのリードインベスターとして、ファイナンス、事業計画、経営幹部採用、組織構築、リーガルリスク対応、IPO 準備など様々な支援を行っている



未電化地域に電気と
明かりを届けます

連携する小売店
(キオスク)の様子



株式会社お金のデザイン



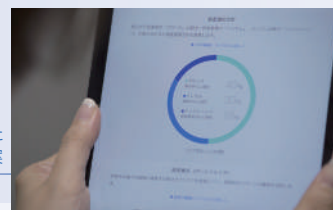
お金のデザイン

**テクノロジーの力で金融サービスを民主化し、
人とお金の新しい関係を創る**

- Q1** 円安・インフレ・超低金利などの市場環境の変化によって、円で資産を持つことが必ずしも最適な資産保全方法とは言えない時代に日本が突入しているなか、京都大学加藤康之教授と共同開発した投資運用エンジンを活用して適切なアルゴリズムを提供。プロのアセットマネージャーが富裕層向けに提供しているものと遜色ないアルゴリズムによって、一般個人でも最適な分散投資を行うことを可能にするべく、2013年8月に創業
- Q2** テクノロジー・金融規制・投資運用実務のいずれにも精通したチーム構成、大手金融機関や大手通信会社を含む各業界の代表的プレーヤーとの緊密な連携
- Q3** 投資運用の信用面の補完、ガバナンス整備やIPOに向けた助言



THEO サービスストップ画面



一人ひとりにあった
資産運用プランを提案

株式会社レトリバ



レトリバ

**最先端の自然言語処理技術で、
人の業務を支援するソフトウェアを作りたい**

- Q1** AI 技術の自然言語処理や機械学習、深層学習に大きな可能性を感じ、株式会社 Preferred Infrastructure から事業譲渡を受けて独立。同社で製造事業部長を務めた河原一哉氏、同社出身で東京大学情報理工学修士の西島羽二郎氏で2016年8月に創業
- Q2** 自然言語処理や機械学習、深層学習への深い知識やノウハウを活かし、顧客の課題を解決するために最適な手法をより使いやすく製品にしている点
- Q3** 経営戦略策定、ガバナンス、リクルーティング、資金調達、顧客等の紹介及びパートナー先の開拓等への支援



Answer Finder 精度評価画面



VoC Analyzer 分析画面

スタートバーン株式会社

startbahn

アートが民主化され、文化のみならず財としても身近で重要な意味を持つ社会の実現

- Q1** 現代美術家であり、東京大学大学院学際情報学府出身の代表施井泰平氏が、技術革新や社会変化のダイナミズムに反しインフラ整備が遅れているアート業界の現状を危惧し、テクノロジーとアートの架け橋となるべく2014年3月に起業
- Q2** 日米で取得した関連特許や、ターゲット層にアプローチしているプレイヤーが少ないこと及び業界事情を熟知し能動的な革新を提案できる立場に居ること。Art Blockchain Networkやアート関連のNFTマーケットプレイスをはじめとした活動によるアート×ブロックチェーンの日本における先導的企業としての認知度の高さ。長く自社でブロックチェーンアプリケーション開発を行ってきたことによる設計・開発の知見
- Q3** シード期以来シリーズA以降も、リードインベスターとして資金調達、人材採用、資本業務提携、ガバナンス整備等の助言を継続

質問内容

Q1

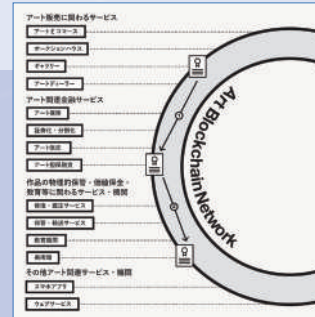
起業の発端

Q2

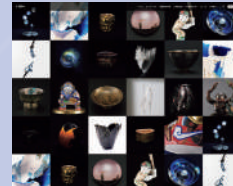
何が強みか
(競争優位性)

Q3

UTECのパリユアアップ
(貢献)

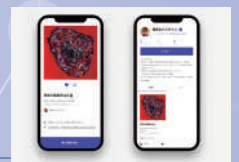


開発を主導するブロックチェーンを活用したアートのインフラ
“Art Blockchain Network (ABN)”



ABNを活用し、ブロックチェーン証明書と共に日本の工芸品を販売する、丹青社との共同プロジェクト“B-OWND”

ABNを活用し、アーティストやギャラリーが作品販売・証明書発行を行える自社サービス“startbahn.org”



株式会社ティアフォー

TIER IV

完全自動運転のプラットフォーム及びサービス事業による高付加価値な移動時空間の創出

- Q1** 名古屋大学等で開発されたオープンソースの自動運転ソフトウェア「Autoware」を使った完全自動運転システム開発の為、加藤真平准氏(当時名古屋大学、現東京大学大学院情報理工学系研究科特任准教授)を中心に2015年12月に創業
- Q2** 「Autoware」を軸に、完全自動運転のプラットフォーム事業と、完全自動運転によって解放される時間と空間を活用したサービス事業を展開。2017年12月に日本で初めて一般公道におけるレベル4(無人運転)の自動運転に成功
- Q3** 経営人材の紹介、資本業務提携の助言等

Logjee_PV1



Milee_PV2



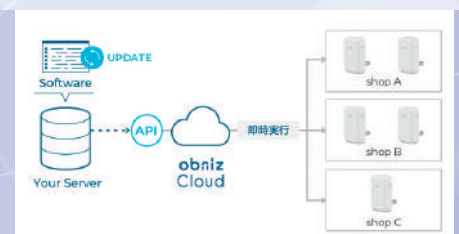
Minivan_PV3

株式会社 obniz

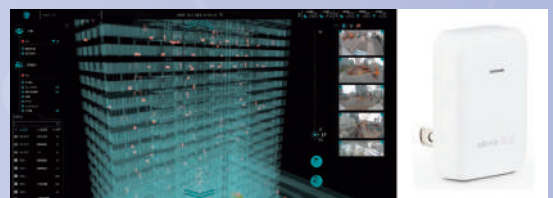
obniz

Make Everything Online

- Q1** 従来のマイコンボードを用いたIoTでは、開発環境の構築や特殊な開発言語、ソフトウェア及びハードウェアの知識も必要となるなど様々なハードルが存在。誰もが自由にIoT電子工作し得る世界を実現すべくobnizを開発、2014年11月に起業。
- Q2** ファームウェアレス技術により開発と実装をクラウドに一元化したことで難易度が高いIoT開発の敷居を下げ、かつ開発工数を削減したことに加え、メンテナンスや機能の拡張を遠隔から一元的に行えることが強み
- Q3** 資金調達や販売営業戦略に関するアドバイス、人材採用支援、法人顧客の紹介、法務面の支援等



複数のエッジデバイスとの連携も1コードで実現



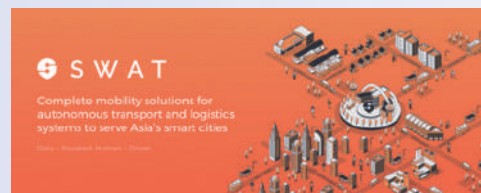
建設現場管理IoTを実現した顧客事例

SWAT Mobility Pte. Ltd.



大型自動車向けのオンデマンド・ダイナミック・ルーティング技術を活用し、
輸送システムにかかるリソースを最適化

- Q1** オンデマンドバスサービスを通じた交通渋滞の解消や通勤通学者向けのより便利な交通手段の提供及び輸送システムにかかるリソースの最適化を実現し社会にインパクトを与えることをビジョンに掲げ、2015年11月にシンガポールにて創業
- Q2** リアルタイムに乗客のニーズに応え最適ルートを生成する高性能な機械学習技術。乗客はより目的地に近いところで乗降が可能となる。旅客輸送事業者に対しては、交通渋滞への対処や自動車台数の減少など、輸送効率化に貢献。Li & Lim's industry benchmarkのインテリジェント輸送部門においてランキングトップを獲得
- Q3** ファイナンス、日本マネージャーを含むリクルーティング、日本進出含むマーケティング等経営戦略全般への助言

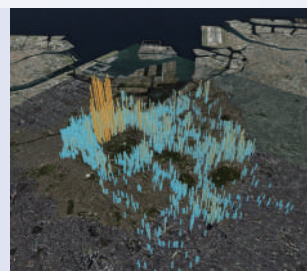


株式会社 estie

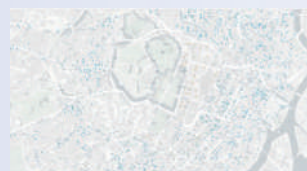
UPDATE REAL ESTATE



- Q1** 創業者の平井瑛氏が三菱地所にて海外不動産投資・オフィス賃貸営業を行うなかで、個別不動産のパフォーマンスに関する統計解析の手法を構想。プロでも十分なエビデンスに基づく客観的意思決定が行われず、テナントは不十分な情報の中で意思決定を行っている不動産業界の現実に課題意識を持ち、2018年12月に起業
- Q2** 賃料をはじめとした不動産にかかる定量指標の推定アルゴリズムや物件のリコメンドアルゴリズムとそれを支える不動産業界の知見。アルゴリズムは、データ収集、理解、補完、整形までの一連の過程において事業用不動産事業の知見を活かし、独自に構築した市場最大級の統合データベースによるもので模倣が困難
- Q3** シード期からコミットしているリードインベスターとして、企業価値向上に向けた戦略・オペレーション・セールス&マーケティング、人材採用を支援



個別オフィスビル賃料を可視化する
アルゴリズム



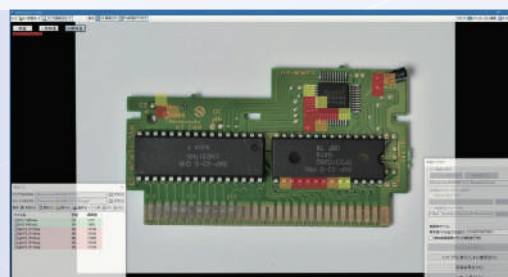
地図上に不動産統合データベースを構築

株式会社 アダコテック



モノづくりの進化と革新を支える

- Q1** 国立研究開発法人産業技術総合研究所(産総研)の革新的な技術「高次局所自己相関(HLAC)特徴抽出法を用いた適応学習型認識方式」を中核とした異常検知AIの実用化を目指して2012年3月に設立
- Q2** 少量の教師データでも異常をほぼ100%検出できる異常検知AIが強み。汎用PCでもミリ秒単位で高速に結果を出すことができ、異常の原因もブラックボックス化せず説明が可能である点も評価され、特にタクトタイムが厳しく説明責任が問われる難易度が高い検査現場への適用が進んでいる
- Q3** リードインベスターとしてシリーズA資金調達を主導。事業戦略、経営人材採用、事業開発等の経営支援



少量のデータでも異常をほぼ100%検出



自動車、電子部品、半導体業界を中心に生産ラインへの導入事例多数

質問内容

Q1

起業の発端

Q2

何が強いか
(競争優位性)

Q3

UTECのバリューアップ
(貢献)

株式会社ROMS



ROMS

: ロボティクスソリューションをサプライチェーンの様々な領域に展開

- Q1** ROMSは、「Retail/Supply ChainをDigitalとAutomationで変革し、次のEX/CXを創造」をミッションに掲げて、ハードウェアを伴う自動化・ロボット化ソリューションを開発するスタートアップとして2019年に創業
- Q2** EC/小売/物流施設向けに、小型自動倉庫、ロボットピックを組み合わせた世界最高効率の「NFC(ナノ・フルフィルメントセンター)」を中心とした各種自動化ソリューションを提供
- Q3** UTECは創業期より関与し、シリーズA以降のファイナンス、事業戦略の立案、ガバナンス、経営幹部の採用などの支援を継続



小型及び保管密度を求めた標準NFCモデル



倉庫内作業の大半の工程で自動化を実現する、豊富なラインナップを提供



VividQ Limited



3Dホログラフィックディスプレイのマスへの普及を目指す

- Q1** 前身はデータ圧縮のスタートアップだったが、コアとなっていたホログラフィ技術を転用し、ケンブリッジ大学Centre for Advanced PhotonicsのTim Wilkinson教授の支援も得て、3Dホログラフィックディスプレイのコアソフトウェア開発事業を軸に2017年にリスタート
- Q2** 画質・計算速度・スケラビリティを全て備えたホログラム計算・光学的収差の計算的補正技術及びその高速実装力と、ホログラフィックディスプレイの構成に必要な各パーツのメジャーなサプライヤーとのパートナーシップ
- Q3** シード期来の共同リードインベスターとしての資金支援、APAC組織構築、日本市場におけるビジネスデベロップメント、日本のアカデミアとの関係構築



VividQのホログラフィックディスプレイは「深さ」を表現可能

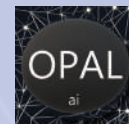


アプリケーションの1つであるARHUDは、実世界のオブジェクトに合った形で情報を重畳



ケンブリッジ大学やオックスフォード大学などのPhD人材を多数擁するVividQのチーム

OPALai Pte. Ltd.



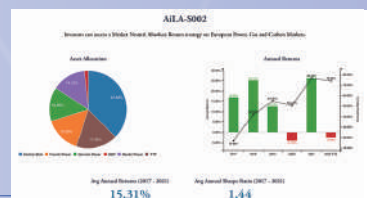
コモディティ、ESG銘柄、FX市場の先物価格、ヘッジ、トレーディング戦略にフォーカスしたAI駆動型指数「AiLA」の提供

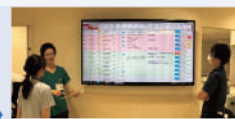
- Q1** ハーバード大学卒で先物デリバティブの分野で20年以上7か国での経験を持つPravin Chandrasekaran氏が2017年6月にシンガポールで設立。UBS、BNP、Barclays、新生銀行、CERNなどで金融工学の豊富な経験を持つメンバーが参画
- Q2** AIによる統計的手法を組み合わせて先物価格に関連する多数の特徴点を分析し、従来は株式を中心に利用されていたContinuous-Time Finance (CTF)等の資産価格評価の技術を先物プライシングに応用。同社製品AiLA™では、エネルギー、電力、金属、農業等のセクターをカバーする投資家向けのテーマ別アルファ生成インデックスと企業向けのトラッカーインデックスを提供し、世界の投資銀行、インデックスプロバイダー、ETF発行会社を中心にAUMは500百万ドル以上
- Q3** リード投資家として、事業計画策定、プロフェッショナル人材の採用、日本における商社・金融機関・製造業等の顧客開拓サポートや日本のアカデミアとの共同研究機会を提供



OPALai's Product Offerings for Pricing, Hedging and Trading

OPALai's Product Performance (for illustration purpose)





姓名	性别	年龄	职业	住址	电话	备注
张三	男	35	教师	北京市海淀区	13800138000	
李四	女	28	医生	北京市朝阳区	13900139000	
王五	男	42	工程师	上海市浦东新区	13600136000	
赵六	女	31	会计	广州市天河区	13500135000	
孙七	男	25	程序员	深圳市南山区	13400134000	
周八	女	38	销售经理	北京市东城区	13300133000	
吴九	男	45	律师	上海市黄浦区	13200132000	
郑十	女	22	学生	北京市海淀区	13100131000	
冯十一	男	33	作家	北京市朝阳区	13000130000	
陈十二	女	40	设计师	上海市浦东新区	12900129000	
林十三	男	27	记者	广州市天河区	12800128000	
黄十四	女	36	心理咨询师	深圳市南山区	12700127000	
周十五	男	41	项目经理	北京市东城区	12600126000	
吴十六	女	29	翻译	上海市黄浦区	12500125000	
郑十七	男	34	产品经理	北京市海淀区	12400124000	
冯十八	女	23	运营	北京市朝阳区	12300123000	
陈十九	男	39	数据分析师	上海市浦东新区	12200122000	
林二十	女	43	人力资源	广州市天河区	12100121000	
黄二十一	男	26	前端开发	深圳市南山区	12000120000	
周二十二	女	37	市场专员	北京市东城区	11900119000	
吴二十三	男	44	法务	上海市黄浦区	11800118000	
郑二十四	女	24	产品经理	北京市海淀区	11700117000	
冯二十五	男	32	运营	北京市朝阳区	11600116000	
陈二十六	女	46	数据分析师	上海市浦东新区	11500115000	
林二十七	男	21	人力资源	广州市天河区	11400114000	
黄二十八	女	30	前端开发	深圳市南山区	11300113000	
周二十九	男	47	市场专员	北京市东城区	11200112000	
吴三十	女	20	法务	上海市黄浦区	11100111000	

-

The diagram shows a top section with many small blue icons representing individuals. Below them, a text box says "匿名化されたデータを集約" (Aggregate anonymized data). An arrow points from this box to a middle section with two orange circles, each containing several blue icons. Below this, a text box says "コミュニティのデータを抽出" (Extract community data). An arrow points from this section to a bottom section with two blue icons. Below them, a text box says "データ連携" (Data linkage). To the right of the bottom section, a text box says "社会と関わりを持つコミュニティのデータを集約" (Aggregate data of communities interacting with society).



Capex

-

HashPort

-

エルフトークン
日本初 ゲームトークン
IEO実施決定

大阪・関西万博の事業連携サービスとして

SBTデジタルパスポート や

Web3用ウォレット などの機能をもつ

EXPO 2025 デジタルウォレット の

アプリサービスを提供

 HashPort

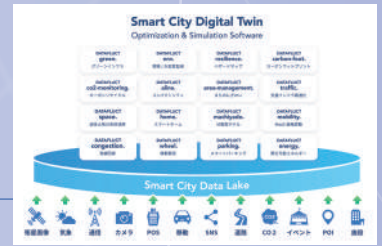
株式会社 DATAFLUCT



データハンドリングと自動機械学習をコアとした「データ利活用の民主化」

- Q1** 13年以上にわたり日本経済新聞社やリクルート等の企業で30以上の新規事業立ち上げに携わり続け、宇宙航空研究開発機構(JAXA)の招聘職員も務める久米村隼人CEOが、データサイエンスを用いた新規事業に特化するために2019年1月に創業
- Q2** JAXAで培った地理情報と画像解析の連携、データサイエンティストの属人性を排した最適モデルを探索する自動機械学習技術、高速に新規アプリケーションを立ち上げることを可能にするクラウド開発基盤
- Q3** シリーズA以降のリードインベスターとしてのファイナンス支援、プロダクト化等経営戦略全般、アカデミア連携、エンタープライズマッチング、人材紹介、IPO準備

都市の課題をデータで解決し、サステナブルな都市を実現することをテーマに開発を進める『DATAFLUCT smartcity series』



ノーコードで機械学習モデルを構築できるマルチクラウド環境のAutoMLツール『DATAFLUCT cloud terminal』



衛星データを活用し、大気中の二酸化炭素の濃度と経済活動を可視化する環境モニタリングサービス『DATAFLUCT co2-monitoring』

株式会社クウゼン



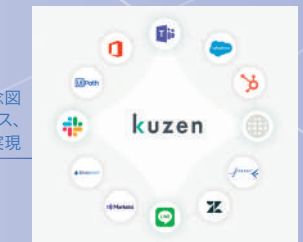
対話の自動化で世界を変える

- Q1** 東京大学アントレプレナー道場、投資ファンド、ITコンサルティングでの経験から、IT分野でグローバルに活躍するスタートアップを日本から生み出すという決意のもと、チャットという通信手段の変化のタイミングを捉えて、東京大学大学院出身の太田匠吾氏と白倉弘太氏で2015年2月に共同創業
- Q2** 200社超の大企業への導入実績を持つこと、エンタープライズ顧客が必要とする多種多様な機能をノーコードで提供する唯一のチャットボットツールや特許取得済みの独自のシナリオ作成アルゴリズムを有すること、顧客の用途に合わせて様々な対話インターフェースを構築可能であること、外部システムと柔軟に連携できることなどが強み
- Q3** ファイナンス戦略やIPO準備に関する助言、採用支援、組織構築



「kuzen」エディター画面
ノーコードでスピーディーに
チャットボットが構築できる

「kuzen」のIntegration Hub概念図
多様な対話インターフェース、
SaaSとの連携を実現



エンドユーザーの
チャットボット
利用イメージ

Sinumy 株式会社



リアルの世界に究極の個人認証を提供し、シームレスな体験で世界を幸せに

- Q1** 人の生きる意味は「次世代を創る」ことであり、特に次世代に残すべきものの1つが「シームレスな社会」だと考えた創業者の足立安比古氏が、個人認証の精度を非常に高めることによりリアル世界における個人認証の課題を解決することでシームレスな社会を創るべく、起業
- Q2** 同社の有する「高速高精度な位置測定」と「決済レベルの認証」の特許技術の応用により、スマートフォンをポケットやバッグに入れるのみであらゆる認証や決済がハンズフリーで可能となる。まずは展示会ソリューションをアプリケーションとして事業を展開。研究開発が進み、99.9%以上の精度で認証可能なスマートゲートを製造
- Q3** ファイナンス、経営幹部の採用、開発・営業人材の採用、経営管理体制構築、UTECベンチャーパートナーの派遣などの支援



Obviously AI, Inc. obviously.ai

エンジニア以外によるデータサイエンスとLLM（大規模言語モデル）の実装を可能にするノーコードAIプラットフォームの開発



Obviously AIの共同創業者であるNirmanとTapojitは、インドとバングラデシュから米国に移住

Q1 共同創業者のNirman Dave氏とTapojit Debnath氏は、ボストンのHampshire Collegeにて同級生として共にコンピュータサイエンスを専攻。CEOのNirman氏は、前職のスタートアップをインテルに売却するなど起業家経験を有し、CTOのTapojit氏は、MITでAI/MLの研究に従事。サンフランシスコのベイエリアに10人のチームを擁する

Q2 優れた性能を持つMLモデルの構築とトレーニングを1分以内に可能にする独自技術「Edge-sharp AutoML」を構築。クラウドサービスやデータベースとのシームレスなワークフローの統合に加え、エンド・ツー・エンドでコードレスなユーザー体験を提供することで、アナリストやBI専門家のニーズに応えている

Q3 クライアントとGo-to-marketのパートナーシップを促進することで、Obviously AIの日本/APACへの進出をサポート。採用、製品戦略、成長戦略のためのハンズオンサポートも実施



アップロードされたデータからAutoML技術を用いて作成された予測レポート



説明可能なAIによるモデル性能の可視化

スタジオアンビルト株式会社



デザインを基軸にした建築設計DX

Q1 名古屋工業大学で建築を学んだのちIT業界で経験を積んだ森下敬司氏と山川紋氏の創業者2人が、ITを使って建築設計の業界を革新することを目指し2017年6月に創業。祖業の建築専門クラウドソーシング「Studio Unbuilt」を運営する中で見出した、注文住宅領域でのペインを解決するため、スマホで間取りの設計を依頼できる「madree」を立ち上げ

Q2 創業チームの建築設計業界へのパッションと経験、国内最大級の建築特化型クラウドソーシング運営による建築専門家へのアクセス、「madree」の新しい事業モデルにより継続的に蓄積される設計データ

Q3 採用支援、ファイナンス戦略、事業開発

建築専門クラウドソーシング「STUDIO UNBUILT」



スマホで間取りを依頼できる「madree」



株式会社 Alumnote



大学・企業向け卒業生ネットワークの構築支援

Q1 東京大学法学部在学中の2021年に起業家甲子園にて総務大臣賞を受賞した中沢冬芽氏が、日本の大学の国際競争力の低下という社会的課題を克服するために大学へ資金が還元する仕組みをつくるべく起業

Q2 大学コミュニティの活性化・潜在支援者層に対するロイヤリティ構築と寄付マーケティングの領域における、必要なデジタルツールの開発と戦略立案～実務支援の提供

Q3 資金調達やチーム組成などシード期企業における経営全般の助言、UTECによる東京大学コミュニティへの寄附プロジェクトの業務委託



アルムネットワークを活性化させるオンラインプラットフォーム



大学経営の課題を解決するオールインワンSaaS「Alumnote」

UPDATE
THE SOCIAL
SYSTEM.



株式会社ALGO ARTIS

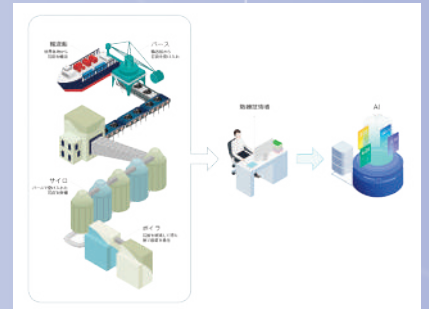


電力や物流会社に向けたインフラ向け計画系AIサービス事業

- Q1** DeNA内における新規事業として2017年から事業化の検討を開始。2021年7月に本事業をスピンアウトする形で創業
- Q2** 大規模計画に特化したソリューション展開。ヒューリスティック解析を高度に扱うことが可能国内でも非常に希少なエンジニアチーム。機械学習、強化学習や数理最適ソルバを用いた従来アプローチでは困難な、現実の複雑な運用を最適化するアルゴリズム。アルゴリズムとフロントエンドを結びつけ、高セキュリティにバックエンドからフルスタックで対応でき、クラウドをベースに柔軟な実装に対応可能なシステム開発力及び実運用レベルの提供
- Q3** リードインベスターとしてシリーズA資金調達を主導。戦略立案支援、人材採用、組織戦略、事業開発、ファイナンスサポート等

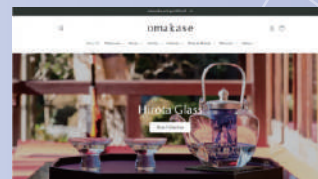


石炭火力発電所(資料提供：関西電力株式会社)



AIによるサプライチェーンの最適化

forest 株式会社

モノづくりブランドのM&Aと成長支援により
日本発の世界ブランドを多く輩出する

越境ECサイト「tomakasei」



経験豊富な創業者チーム

- Q1** 小売、マーケティング、投資/M&Aに通じた経験豊富な創業者チームが、Eコマースを通じ日本を代表するブランドを数多く育み、世界に届けることを目指して起業
- Q2** ECブランド買収・バリュアップに関する知見と実績を有する強力な創業者チーム。EC売上データの収集及びスクレイピングなど独自技術による買収先候補の選定と、デジタルマーケティング強化、越境ECに関するノウハウ、データサイエンスを駆使した販売/市場データの分析・活用等によるECブランドの売上成長支援
- Q3** シード期からの伴走、戦略立案支援、人材採用、組織戦略、事業開発、ファイナンスサポート等

日本のモノづくり
ブランドの成長支援

株式会社メドコム



医療のICTプラットフォーム化により、医療機関のDXや働き方改革を推進

- Q1** 創業者がNTTドコモ在職中に医療業界におけるDX化の遅れに課題を感じ、2016年7月に創業。セキュアな環境下で医療機関のDXを実現するスマートフォンサービス「メドコム」を提供、医療現場の働き方改革を推進するアプリケーションを開発
- Q2** NTTドコモをはじめとする病院内通信のベンダーや日本病院会など、医療・通信分野の有力企業・団体との強い連携、スマートフォン端末を独自のログイン機能で共有する特許が強み。PHSにはないチャットや電子カルテ連携機能・独自のログイン機能による出勤者の判別発信先への速やかな連絡機能・医療機関向けのセキュリティを搭載
- Q3** 事業・ファイナンス戦略、チーム組成等の継続的な支援



医療機関専用スマートフォン「メドコム」

boost technologies 株式会社



エンタープライズにESG経営を実現するERP

- Q1** 船井総研にてスマートエネルギービジネスチームのリーダーを務めた青井宏憲氏が、電力自由化に伴い参入した新電力業者を支援するために設立。新電力向けのエネルギーマネジメントシステムとBPOを祖業とし、炭素会計分野に2021年より進出、炭素会計のみならずESG経営を支援するERPの提供を開始
- Q2** 10年以上・70社以上の電力業者と付き合いしてきた業界経験、一貫してエネルギー領域向けにERPを開発してきた技術力。エンタープライズ企業を中心とした導入実績
- Q3** ファイナンス支援、人材の紹介や採用支援、アカデミアやガバメントとの連携支援



ENERGY X GREEN

炭素会計プラットフォーム『ENERGY X GREEN』



AEON Green System

Produced by

boost

エンタープライズとシステムの共同開発も

ONIGO 株式会社



欲しいものが当日すぐ届く、宅配ネットスーパー(Q-commerce)

- Q1** 三井住友銀行でロシア支店立ち上げなどを経て、CarPrice Japanを起業、楽天に売却（現：楽天カー）した梅下直也CEOが、起業家の戦略・資本政策支援をする中、世界中で同時多発的に立ち上がったQ-commerce分野に着目し2021年6月に創業
- Q2** 創業から2ヶ月で店舗開設に至ったエグゼキューション速度、初期から海外投資家を巻き込んだファイナンス、サプライチェーンの構築、B2Bパートナーシップ、ユーザーフォーカスしたサービス開発
- Q3** リードインベスターとして、ファイナンス戦略の立案、事業開発支援、大企業とのパートナーリング、人材の紹介や採用支援を行っている



ダークストア内でピッカーが商品をピック



OniGO 専属のライダーがお客様にお届け

株式会社 ARCH



「人生の選択肢を増やす」をミッションに、生殖医療の課題を解決する

- Q1** ヤフーでメディア事業の事業部長や子会社社長を経験した創業者中井氏の自身の不妊治療の経験で感じた課題を解決するために2021年6月に創業。共同創業者の市山氏は順天堂大学医学部卒の生殖医療医、椎野氏はヤフーを経て複数のベンチャー企業でCTOを務めたエンジニア
- Q2** 電子カルテシステム、医療メディア等、本事業に必要なIT関連の経験・スキルを高度に併せ持つチームと、女性の一生に寄り添う一貫通貫したデータとそれを可能とするクリニックプラットフォーム及びプロダクトが強み
- Q3** シードラウンドの資金調達をリードし、事業戦略、組織戦略等の経営支援



シームレスな診療体験の提供

XMile 株式会社

テクノロジーの力でノンデスクワーカーが主役の世界を

X Mile

- Q1** 大手スタートアップの新規事業室やシードステージ・フィンテックスタートアップ(取締役 COO)を経て、「ブルーカラー産業におけるDX化の余地の大きさ」や「ドライバー不足」問題を解決すべく2019年に創業
- Q2** 累計100,000名以上が登録している、日本最大級のノンデスクワーカー専門求人検索サービス「X Work」を展開。さらに、「ドライバーキャリア」、「建職キャリア」等を通じてノンデスクワーカーの転職を支援。また、運送業者向けSaaS「ロジボケ」を通じて業務のDX化や生産性向上をサポート
- Q3** リード投資家としてシリーズA資金調達を主導。営業・採用支援及び経営支援



コンパウンドスタートアップとして、ノンデスク産業を中心としたマルチプロダクト戦略の推進



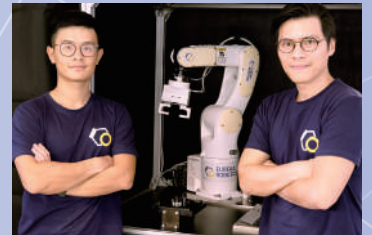
ノンデスク産業のデジタル化を推進するため、SaaS・Marketplaceなどを業界別に垂直展開

Eureka Robotics Pte. Ltd.



HA-HA (High Accuracy-High Agility)タスクのためのロボティクス&AIのバイオニアになり、製造業における労働力不足の解決、飛躍的な生産性の向上の実現を目指す

- Q1** 同社ロボットコントローラは南洋理工大学 (NTU) シンガポール校、東京大学、マサチューセッツ工科大学での10年にわたる研究成果を活用。CEOのDr. Pham Quang Cuongは、フランスのソルボンヌ大学で神経科学とロボット工学の博士号を取得し、日本学術振興会特別研究員として東京大学で博士研究員を経た後、NTU准教授(休職中)。CTOのDr. Hung PhanはNTUにてロボット工学の博士号を保有。シンガポール、ベトナム、日本、フランスに拠点を有する
- Q2** 物理ベースのロボティクスモデルと機械学習 (ML) モデルの独自の組み合わせ。業界標準と比較し約10倍の精度を誇り、世界で初めて実世界での1,000万回以上のHA-HA操作を達成。世界有数の製造メーカーを主要な顧客に持つ
- Q3** リードインベスターとしての、製品、事業開発、流通、資金調達に関する戦略的支援。チームビルディング、顧客との関係構築、Go-to-Marketパートナーシップの促進を通じた日本への進出支援



共同創業者のDr. CuongとDr. Hung (NTUのラボにて)



HA-HAタスクに対応したEureka Controller

株式会社 Cordia Directions (Peach Cars)

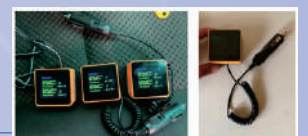


IoTと機械学習を活用し、サハラ以南のアフリカにおける中古車保有に革命を起こす

- Q1** グローバルに活躍してきたMcKinsey出身の加賀野井薫CEOがアフリカでの実務経験が豊富なZachary Petroni COOと前職Safebodaで出会い、サハラ以南のアフリカにおける中古車市場に着目し共同創業。現在はOLX、トヨタ、サファリコム、東京海上等で経験を積んだ20人以上のチームをケニアと日本に擁する
- Q2** 買い手と売り手をマッチングすることでマーケットプレイス3.0モデルを開拓し、ケニアでの中古車所有に革命を起こす。同社の独自のスマートエンジンチェックIoTデバイス、応答性の高いウェブ/モバイルアプリ、自動検査、データ分析からなる技術プラットフォームを活用し、信頼性、透明性、顧客中心主義を実現
- Q3** 主要投資家として、製品戦略、研究開発の強化、クロスボーダー展開、日本の自動車メーカーとの戦略的Go-to-marketパートナーシップにおいてPeachをサポート



ケニアのメンバー



Peach Carsのエンジンチェック用IoTデバイス

株式会社 Quanmatic

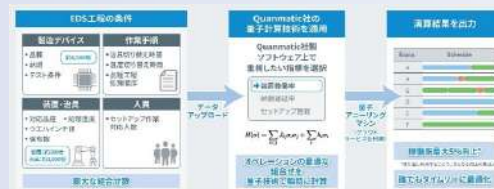


際限なく増え続ける情報を実用的に利用可能な世界を実現する

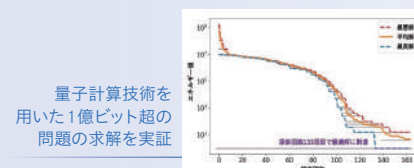
- Q1** 情報工学、量子計算、アルゴリズム開発の第一人者である早稲田大学戸川望教授 (CSO) の研究シーズをもとに、古賀純隆CEO、慶應義塾大学の田中宗准教授 (CTO) と武笠陽介CPOの4名で2022年10月に創業
- Q2** 早稲田大学・慶應義塾大学の研究成果を基盤に、量子計算技術に幅広い最先端技術を組み合わせたアルゴリズムとソリューションを展開。量子計算、古典最適化、実験化学、AI・機械学習のトップ研究者とサプライチェーンの戦略・デジタル化と戦略コンサルタントの経験を持つCEOからなる経営陣によって、顧客のニーズに合わせた技術提案と実装を行う。トップレベルの研究成果をベースにした、アニーリング式・ゲート式に対応する大規模計算に特化したコアプロダクト群を保有。
- Q3** 創業ラウンド以降のファイナンス支援。事業戦略、経営人材採用、事業開発等の経営支援



各分野のトップ実績を持つ経営陣



国内大手半導体メーカー向け製造工程最適化を実証



issin ホールディングス株式会社



日常生活に溶け込んだヘルスケア機器・サービスの開発・提供を通じて生命力が溢れる世界を実現する

- Q1** 2008年7月に UTEC EIR によるインキュベーションと出資を受け popIn を創業し、2015年5月に中国検索エンジン最大手 百度 (バイドゥ) に M&A exit を果たしたリアルアントレプレナー程涛氏による新会社
- Q2** popIn 時代に開発したヒット商品「popIn Aladdin」が販売実績累計20万台を突破し国内ホームプロジェクトシェア No.1 を獲得した実績、消費者・顧客ユーザーのペインへの理解に基づく明確なビジョンとプロダクト構想力、海外ネットワークを活用した量産体制と実績豊富なメンバーによる海外展開力
- Q3** リードインベスターとしてシリーズA 資金調達を主導。事業戦略、経営人材採用、事業開発等の経営支援

手軽な心拍数運動
エクササイズ
「Smart 5min」



風呂上がりに体重を測定できる
「スマートバスマット」

popIn 創業者であり、
リアルアントレプレナーの程涛 CEO



UTEC Portfolio Companies

MEMO

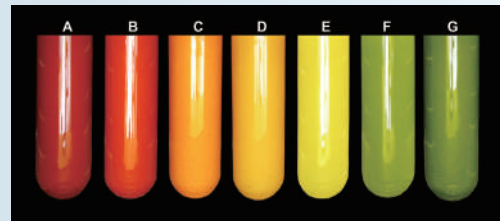
株式会社アルガルバイオ



algal bio

藻類が創る、新しい未来

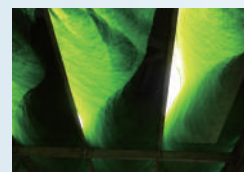
- Q1** 東京大学河野重行名誉教授の20年以上の藻類バイオ研究の成果を基に、文科省JSTでの共同プロジェクト推進、また研究室の存続のため大学への寄附を経て、河野研究室の竹下毅博士が2018年3月に起業。
- Q2** 従来の藻類ビジネスが限られた藻類株の事業化を主としていたところ、多種多様な藻類株の生成・培養・機能性成分の誘導に関する知財を基に、エネルギー・食・健康の三分野のグローバルな顧客企業群に向けて世界初の藻類バイオファウンダリー事業構築を目指している
- Q3** 創業段階からのリードインベスターとしてシリーズB以降までのファイナンスを実施。経営幹部の採用、事業戦略の立案、資金調達等における支援を行っている



様々な機能性成分が育成された「七色クロレラ」。色はカロテノイド種や長鎖脂肪酸種に対応



通常の藻体(左)と超オイル藻体(右)



薄層光バイオリアクターでの大量培養

BionicM 株式会社



Powering Mobility for All.

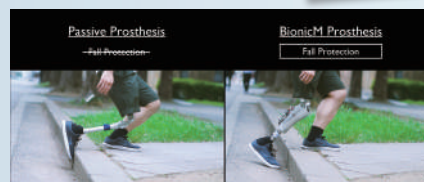
- Q1** 自身も義足ユーザーである創業者の孫小軍氏が、ソニーでのエンジニア経験と、ロボティクス研究で実績を残している東京大学大学院情報理工学研究所 稲葉雅幸研究室での博士研究を基に2018年12月に起業。起業前の3年間、UTECと共に科学技術振興機構(JST)のSTARTプログラムを活用して研究開発を進めた
- Q2** 東京大学発ベンチャーとして、ロボティクス工学研究に基づく最先端テクノロジーを活用し、従来の義足の問題を解決し、自然な動きを実現する小型かつ軽量な高機能義足の開発と販売。元来グローバルな義肢市場の中でも最大である米国でFDA登録済
- Q3** シード期以来のリードインベスターとして、チーム組成、事業開発、資金調達、ガバナンス面における支援を行っている



ロボティック義足



SXSW 受賞スピーチ



安全機能比較

Nelumbo Inc.

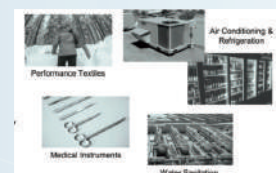
nelumbo

UCバークレー／シンガポール南洋技術大学発の素材加工技術でイノベーションを起こす

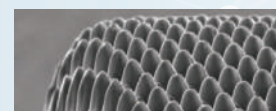
- Q1** 国際的な大学間連携研究を基に、素材加工技術のプラットフォーム化を目指し2016年5月に起業。共同創業者でCEOのLiam Berryman氏はティールフェローで米国 Forbes 30 under30選出。他創業者は米国エネルギー省フェロー
- Q2** 多数の特許で競争優位を保持する素材加工の基盤技術及びアプリケーション毎に顧客と共同開発を行い成果を共有するビジネスモデル。一部のアプリケーションはクロスボーダーでの売却済み、基盤技術の競争優位性を証明している
- Q3** 素材加工の対象は金属、繊維等多岐にわたる。グローバルなバリューチェーン上で日本が特に重要な位置を占めるHVACや機能性繊維関連の事業提携の構築、M&Aパートナーの開拓といった支援を実施している



共同創業者 David Walther, Liam Berryman, Lance Brockway



アプリケーション分野



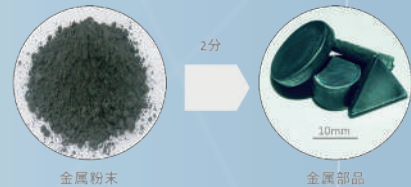
表面加工イメージ

SUN METALON Inc.

SUN METALON

人々が思い描いたモノが、あらゆる場所でカタチになる世界へ

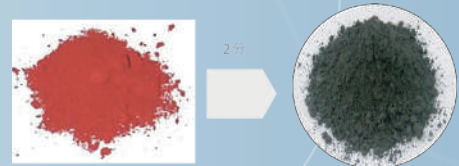
- Q1** 当時日本製鉄に在籍していた西岡和彦氏と景山宏治氏が、これまでになかった電磁波を利用した製鉄方式による金属3Dプリンティング技術を独自に着想し、2021年2月に起業。「金属部品を地産地消化し宇宙における人類の可能性を飛躍的に拡張する」ことをビジョンとして掲げる
- Q2** 完全独自技術に基づく革新的な金属3Dプリンティング(超高能率・超安価・超大型)手法とその特許及び、産学での経験豊富なトップエンジニア集団(創業チーム)と、それを支える世界的な技術アドバイザー陣(MIT、Oxford、東京大学)
- Q3** ディープテック領域における豊富な実績と成功体験に基づく、的確な経営支援(助言、サポート)や幹部人材の採用支援、様々な専門家人材の紹介(マーケティング、知財戦略等)



金属粉末

金属部品

超安価・超高能率・超大型な金属3Dプリント技術(完全独自)



金属原石の粉末

金属粉末

金属原石粉末から金属粉末をその場製造(CO₂フリー)

Kepler 株式会社

Kepler

質感を表現するディスプレイ技術

- Q1** KDDI『LIGHT POOL』、魅族科技『Gravity』など、グローバルのヒット製品をデザインしたデザイナー・坪井浩尚氏が、Googleとのプロジェクトで発表した「紙のような電子カレンダー」を事業化すべく設立
- Q2** 紙をはじめ、様々な素材の特性を模倣するディスプレイを実現する、ハードウェアとソフトウェアを一気通貫した技術。視野角の広いディスプレイの開発
- Q3** ファイナンス支援、戦略支援、人材の紹介や採用支援、アカデミアとの連携支援

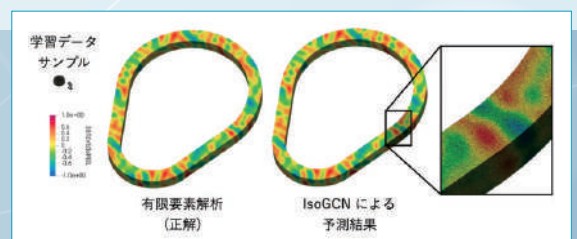
印刷紙と、Keplerの
ディスプレイの比較木のテクスチャを
ディスプレイで模倣

株式会社 RICOS

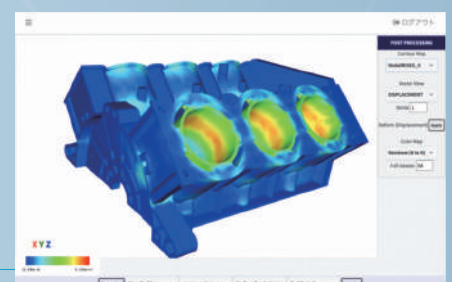
RICOS

AIとシミュレーション技術で製造業の製品設計・シミュレーション課題を解決する

- Q1** 創業者の井原遊氏が東京大学大学院新領域創成科学研究科博士課程で行った、物理試験を代替する3次元シミュレーション(CAE)に関する研究成果を基に、情報処理振興機構(IPA)の未踏プロジェクトを経て起業
- Q2** グラフ・ニューラル・ネットワークに基づく独自のIsoGCN技術を推論モデルとして活用しデザイン・設計・シミュレーションなどで使われる既存製品を2桁オーダー高速化。高速化された推論モデルを自動的に繰り返し演算させることでGenerative(生成)CAEを可能とし、グローバルな製造業顧客の課題を解決
- Q3** 最初の外部投資家ラウンドから複数回にわたりリードインベスターとして、事業開発、経営チーム組成、ガバナンス面での支援を行っている



高精度かつ汎用性の高いアルゴリズム

ブラウザ上で
シミュレーションを
行うツール

Charco Neurotech Ltd

非侵襲的治療法でパーキンソン病患者のQoLを改善し、
日常に笑顔を取り戻す



- Q1** 数々の賞を受賞している起業家のLucy Jung氏がImperial College在学中にデザインした刺激治療機器「Arc Pen」がパーキンソン病の症状の一つである小字症患者用のペンとして有効性を示した。局所振動刺激とキューイングの組み合わせにパーキンソン病治療に向けた大きな可能性を感じたLucyが2019年6月に英国・ケンブリッジで起業
- Q2** キューイングと局所振動刺激の機能を組み合わせた「CUE」により、前例のないパーキンソン病の非侵襲的治療を可能にすること
- Q3** 少子高齢化が進みパーキンソン病患者が増加傾向にある日本市場進出のハンズオン支援



パーキンソン病非侵襲的治療機器「CUE」



CUEを受け取るパーキンソン病患者

EnteraSense Limited



ピル型非侵襲的診断医療機器「PillSense（ピルセンス）」による
上部消化管出血診断プロセスにおける課題解決

- Q1** ハーバードメディカルスクール消化器病学教授のChris C Thompson氏とシリアル医療機器ベンチャー起業家のDonal Devery氏が手を組み、上部消化管出血診断過程の課題（内視鏡利用、診断時間長期化、医療費増加）に着目、非侵襲的な診断機器の開発により課題を解決すべく、欧州の医療機器開発の中心地であるアイルランド共和国ゴールウェー市で2015年5月に創業
- Q2** 診断結果を得るまでに平均27時間の待ち時間を要している従来の内視鏡検査に対し、15分以内に上部消化管出血の有無を正確に診断することが可能な技術力。医療機器の技術開発・商業展開において経験豊富な人材が揃ったチーム
- Q3** 日本を拠点とするグローバル光学機器、電子医療機器会社との共同開発

上部消化管出血診断医療機器
「PillSense」



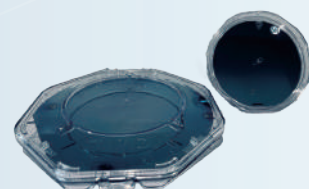
EnteraSenseのチーム

株式会社 Gaianixx

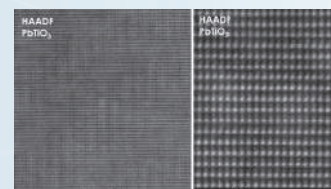
“多能性中間膜”で人類のために最大限の貢献を果たす



- Q1** 共同創業者の木島健氏が東京大学田畑研究室にて「動的格子マッチング」のメカニズムを解明し、多段階単結晶化に最適なM4技術（Material, Method, Machine, Member）を構築。本技術の事業化を通して半導体業界の革新と社会貢献を実現するためにUTECの支援のもと創業メンバーが集結し、2021年10月に設立
- Q2** 当社の多能性中間膜™は世界で唯一の多段階エピタキシャル単結晶膜を実現することが可能。基板や機能膜材料を選ばずに性能向上・コスト削減をもたらす、MEMSやパワー半導体といった化合物半導体のが使われる多種多様な産業へ展開可能なビジネスをプランしている
- Q3** 起業前段階からチーム組成、製品開発戦略、事業開発、資金調達など多面的に支援



6inch/4inchの多段階単結晶膜を実現



単結晶膜の格子像

Liminal Insights Inc.

liminal

独自AIと超音波センサーでEV用バッテリーの全数検査を実現、脱炭素社会に貢献

- Q1** プリンストン大学の技術者とUC Berkeleyに関連する起業家プログラムのフェローが、ローレンスバークレー国立研究所と提携して2016年12月に設立
- Q2** EV用バッテリーセル製造工場で製造行程中の全数検査を超音波と機械学習分析で実現。非破壊でセル内部を可視化・分析し、製造工程における歩留まり管理(Yield Management)を行いながら物理的な安全性を担保する
- Q3** リードインベスターとして経営戦略構築、ガバナンス、また日本などアジア諸国における事業提携や事業開発を円滑に進めていくための支援を行う



共同創業者 Andrew Hsieh 博士 (CEO)
Shaurjo Biswas 博士 (CTO)



検査・解析装置

Ubifly Technologies Pvt. Ltd (ePlane)

貨物・旅客輸送用eVTOL(電動垂直離着陸機)の
製造を通じて、アーバンエアモビリティ(UAM)に革命を



THE
ePLANE
CO.

- Q1** IIT マドラス校のスピノフとして、2019年にインドのチェンナイで設立。共同創業者兼CTOのDr. Satya ChakravarthyはIITマドラス大学の航空宇宙工学の教授であり、ジョージア工科大学で博士号を取得後、同校に研究開発センターを設立、インドの同分野の第一人者
- Q2** 翼とローターの相互作用により翼の周りを超循環させる「エアロダイナミック・シナジー」を世界で初めて実現。10~100kmの飛行に適した「低速」で「コンパクトな翼」による高揚力を発生させることが可能。複数の冗長性とフェイルセーフ機構により、eVTOLの安全性も向上
- Q3** 製品戦略、製造のスケールアップ、事業開発、資金調達などにおけるグローバルな視点の提供。日本の製造会社や電池メーカーとの協業支援



ePlane「e200」モックアップ-貨物・旅客輸送用200kg機



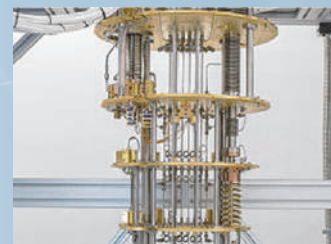
ePlane チーム (IIT マドラス本社にて)

Oxford Quantum Circuits Limited

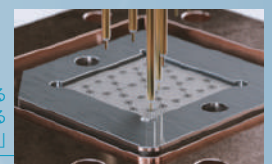
OQC

現代物理学のブレークスルーである量子計算技術に応用し、
あらゆる分野で革命を起こす

- Q1** オックスフォード大学の Research Fellow であり、英国の超電導量子コンピュータ開発を主導する Peter Leek 博士が2017年に3次元アーキテクチャによるパッケージング技術「Coaxmon (コアックスモン)」を発明し、特許を取得するとともに、英国オックスフォード大学からスピンアウトさせ、2017年6月に創業
- Q2** 量子チップと配線を完全分離する off-chip wiring を可能とする3次元アーキテクチャによる大規模集積化可能な特許技術「Coaxmon」を有する。2022年2月には世界で4番目に Amazon Web Service に採択され、2022年9月に Cyxtera (UK)、2023年2月に Equinix (天王洲アイル) と世界に先駆けてデータセンターにマシン (Toshiba, 32QPU) を導入し、NISQ (Noisy Intermediate-Scale Quantum Computer) 時代の商業化を牽引
- Q3** 東京大学を含むアカデミアとの連携、日本/APAC への進出・日本チーム採用サポート、シリーズAからシリーズBまでの資金調達サポート



OQCの
希釈冷凍機の内側



量子チップと配線を完全分離する
off-chip wiring を可能とする
3次元アーキテクチャ「Coaxmon」

株式会社 TriOrb

TriOrb

産業界初の全方向移動プラットフォームでの協調搬送を実現し生産性向上を目指す

Q1 CEOの石田秀一氏は、九州工業大学在学時の2008年から球駆動式全方向移動機構の研究開発に従事。博士課程修了後は(国研)産業技術総合研究所に入所し、10年間民間企業と製造現場の課題解決を目的とした共同研究に取り組む。球駆動式全方向移動機構の研究成果を基にTriOrb BASEを開発。(国研)科学技術振興機構(JST)のSCORE、STARTの支援、九州工業大学からの技術移転を経て、2023年2月に創業

Q2 長らく学術的な研究に限定されていた全方向移動プラットフォームの産業応用における課題である、狙った方向への正確な移動の困難さ、床面の段差への対応不足、そして重量物の搬送能力の限界をハードウェアの機構学的観点で解決。従来の全方向移動機構と比較し、高い外乱走破性/高精度な移動制御/機体の小型化と高耐荷重性の両立が可能

Q3 リードインベスターとして、特許ライセンスの交渉、事業開発、経営面での支援

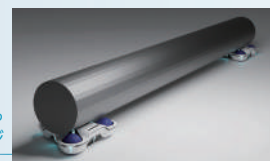
TriOrb BASEの
コンセプトモデル



自社開発の
自律移動ソフトウェア



協調搬送による
長尺物搬送のイメージ



UTEC
Portfolio
Companies

MEMO

Deep30 投資事業有限責任組合

30

深層学習の無限の可能性で、共に未来をアップデートする

- Q1** 深層学習などのAI技術はハードウェアとの連携が重要となってきたことから、既存のインターネット事業よりリスクをとった初期投資が必要となる。そのため、深層学習などのAI技術の実現可能性を見極められる投資主体の必要性を感じた
- Q2** 産学連携の橋渡しをしながら、社会実装のための技術的助言、バックオフィス支援などを行い、AI分野の研究開発、エンジニア育成、バリューアップまでの一貫したサポート体制を構築
- Q3** VCファンド設立・運営に必要なビジネス・法務・財務等の各種知見の指導、投資先への企業紹介やフォロー投資

深層学習の無限の可能性で、
共に未来をアップデートする

Deep30は深層学習が持つ、様々な領域に広まる可能性を信じ、基礎研究・応用研究と
リアルな産業との橋渡しとなるベンチャーキャピタルです。

BLUME VENTURES-FUND III Blume Ventures GIFT TRUST IV



インドにおいてTech/Earlyにフォーカスした最もアクティブかつ最大のファンド(AUM\$500Million超)

- Q1** Karthik ReddyとSanjay Nathによって2010年に設立。2011年に初めてのファンドとして\$22MillionのFund Iを設立。その後2015年には\$60MillionのFund II及び\$41MillionのFund IIAを設立し、2018年には\$102MillionのFund IIIを、2021年には約\$300MillionのFund IVを設立
- Q2** BlumeはインドにおいてTechにフォーカスしたVCのパイオニア。インドのTech分野のスタートアップであるGreyOrange、Tricog、Locus、Carbon Clean Solutions等多数の投資実績があり、Taxiforsure (OlaCabsが買収)、Zipdial (Twitterが買収)、Minjar (Nutanixが買収)等Exit実績も多数。アドバイザー、リクルーティング、クロスボーダー展開等のサービスを投資先へ提供、多方面からバリューアップする仕組みを有する
- Q3** UTECは日本からは最大のLPであり、BUDHA (Blume UTEC Deep-tech Accelerator)イニシアチブを共同で実施。BUDHAではDeep Science/Technologyを武器にグローバルマーケットに挑戦するインドのスタートアップを支援



Blume Day 2020



Partnering with Exceptional Founders

UTEC
Portfolio
Companies

Amadeus V Technology Fund LP



Amadeus
Capital Partners

英国・欧州を代表するディープテックベンチャーキャピタルファンド

- Q1** 1997年に英国、欧州発のテックベンチャーを世界に進出させたいという思いから Hermann Hauser 氏と Anne Glover 氏が創業
- Q2** IT、ライフサイエンス、エンジニアリング分野で投資実績豊富なパートナー。また、ケンブリッジ大学、オックスフォード大学を始めとするイギリス、欧州各地の名門大学や各業界を代表する企業、ベンチャーキャピタルと強いネットワークを持っている
- Q3** UTECとの共同プログラムとして、「AUGMENT- Amadeus UTEC Global Market Expansion of Novel Technologies partnership」を発表。共同投資やバリューアップ等を行っていくことを通じて、英国及び欧州における日本とシナジーがあるスタートアップのソーシングを確保するとともに、UTECの投資先スタートアップの支援を図る。UTECとしては、日英欧クロスボーダーでの、市場/アカデミア/企業間の進出・提携支援を行っていく



アラムナイ

国内外で第一線で活躍されてきた UTEC アラムナイ（卒業生）の方々



2023年6月 東証グロース市場にてIPO

株式会社アイデミー 創業者

石川 聡彦 氏

DX組織内製化や
AIシステム運用の支援

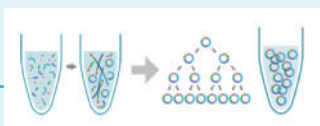
東京大学工学部在籍時の2014年に創業。自身の研究を契機にAIプログラミングに取り組む敷居の高さを感じ、2017年12月より、人工知能エンジニア(人工知能を使えるデータサイエンティスト等)を養成するため「Aidemy」のリリースから事業を開始。法人及び個人向けにAIをはじめとした先端技術を、企業や個人がいち早くビジネスの現場で使えるようにするサービスを展開。AI/DXの内製化支援を中心に、ビジネスの変革を目指す企業に向けて、顧客が自社でAIの活用やDXを推進していけるよう人材育成やプロジェクト伴走支援を行う。近年は、GX/SXやマテリアルズ・インフォマティクス領域にも事業を拡大中。2023年6月、東証グロース市場にてIPO。



2023年2月 Moderna, Inc. がM&A

オリシロジェノミクス株式会社 創業者

平崎 誠司 氏

DNA断片から
ゲノムサイズのDNAを
効率的に合成

日本経済新聞社、遺伝子治療開発のアンジェスの取締役を経て、立教大学末次正幸教授の発明した細胞を使わずにDNAを連結・増幅する画期的な技術の事業化をすべく、オリシロジェノミクス株式会社を共同創業。ワクチン原材料としてのDNA製造等の業界ニーズと同社技術の適用可能性にいち早く気づき、事業立ち上げから成長フェーズへと同社を導いた。

オリシロジェノミクス株式会社 代表取締役(当時)

バシルディン ナセル 加藤 氏

シアトル育ち、ワシントン大学卒業後、東京大学で有機化学博士号を取得。創業支援企業ペプチドリームで先端開発部門ディレクターとして実績を積み、2021年に同社に参画。製薬企業とのコラボレーションの豊富な経験を活かし、同社ビジネスモデルの焦点を治療薬の開発と製造に転換し、Moderna, Inc. とのM&Aへと同社チームメンバーとともに導いた。



2022年12月 東証グロース市場にてIPO

株式会社ELEMENTS 創業者

久田 康弘 氏

eKYC生体認証クラウドで培った
精度の高い画像照合

慶應義塾大学法学部を卒業し統計数理を専門とする。法医学の統計学による鑑定技術とコンピュータービジョニングによる技術開発に着手し、2013年12月に同社を創業。オンライン本人確認サービス「LIQUID eKYC」、本人認証サービス「LIQUID Auth」等、大規模データに基づいた個人認証・個人最適化ソリューションを各業界のサービス提供事業者へBaaSとして提供している。2022年12月、東証グロース市場にてIPO。

*市場区分見直しに伴い、現在は東証グロース市場に上場



2022年6月 東証グロース市場にてIPO

マイクロ波化学株式会社 創業者

吉野 巖 氏

世界初の大型マイクロ波化学工場
(化学品の生産能力は年3200t)

三井物産(株)(化学品本部)、退職後、米国にてベンチャーやコンサルティングに従事。2007年、大阪大学の准教授であった塚原保徳取締役CSOの研究成果を活用し、「日本発の革新的技術を世界に広めたい」「新しいテクノロジーベンチャーを日本に起こしたい」「環境に貢献する事業を始めたい」という想いを実現するため、塚原氏とマイクロ波化学株式会社を共同創業。マイクロ波プロセスを用いたモノづくりを可能とするプラットフォーム技術を提供するビジネスモデルを構築。2022年6月、東証グロース市場にてIPO。



2022年5月 Eurofins Scientific SE がM&A

Repertoire Genesis 株式会社 創業者

鈴木 隆二 氏

レパトア解析を利用した
免疫細胞療法の開発

1986年に東北大学で医学博士を取得。1989年にテキサス大学MDアンダーソン癌研究所へ留学。腫瘍免疫学の発展に、リンパ球の抗原特異性や免疫多様性の解析(レパトア解析)が不可欠であることを確信。帰国後は製薬会社や国立研究機関に所属し、研究を通じて各疾患領域の医師や専門家とネットワークを構築。2014年、「治らないをなくす」をミッションにRepertoire Genesis 株式会社を創業。未解決の医療ニーズに挑戦するため、基礎研究から免疫細胞療法の開発支援事業を展開。2022年5月にEurofins Scientific SEによるM&Aが完了し、世界市場参入への足掛かりを得る。

* 鈴木氏は2024年4月にご逝去されました。ご生前のお姿を偲び、謹んでご冥福をお祈りいたします。



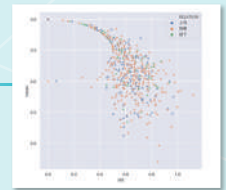
2021年12月 東証マザーズ市場にてIPO*

Institution for a Global Society 株式会社 創業者

福原 正大 氏

企業向け
気質・コンピテンシー
AI測定ツール「GROW360」

東京銀行(現:三菱UFJ銀行)、パークレイズ・グローバル・インベスターズの日本法人取締役等を経て、2010年に「人を幸せにする評価と教育で、幸せを作る人、をつくる。」をビジョンにIGSを設立。国際機関・政府・自治体・学校・大手企業などの幅広い顧客に、AIを活用した評価ツール「GROW」や教育サービスを提供。子ども～社会人の多面的な能力の可視化・育成や、企業の組織開発に貢献する。さらに、能力や学習履歴などのデータをキャリアに活かせる、ブロックチェーンを活用したプラットフォームも実証事業中。2021年12月、東証マザーズ市場にてIPO。*



Green Earth
Institute

2021年12月 東証マザーズ市場にてIPO*

Green Earth Institute 株式会社 代表取締役CEO

伊原 智人 氏

GEI 化学品

通商産業省(現:経済産業省)にて資源エネルギー庁電力市場整備課で電力行政を担当、株式会社リクルートで大学発技術の事業化支援を担当したのち、2013年にGreen Earth Institute 株式会社に入社、同年10月に代表取締役社長就任。従来の発酵プロセスは通常、食糧と競合するバイオマスを使ってきたのに対し、同社は茎や葉、木などの非可食バイオマスをも原料としたバイオ燃料やグリーン化学品の生産を可能とする技術の研究開発を行っており、これらの技術サービスを提供している。国内外の幅広いネットワークを活かし、バイオリファイナリー産業の新しいプラットフォームを目指す。2021年12月、東証マザーズ市場にてIPO。*



アラムナイ

国内外の第一線で活躍されてきた UTEC アラムナイ (卒業生) の方々

* 市場区分見直しに伴い、現在は東証グロース市場に上場

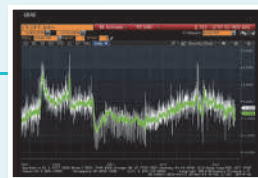
FINATEXT
HOLDINGS

2021年12月 東証マザーズ市場にてIPO*

株式会社 Finatext ホールディングス 創業者

林 良太氏

日経 CPI Now



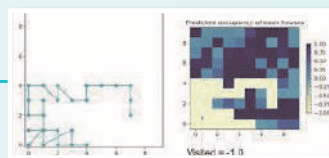
ドイツ銀行ロンドンのテクノロジー部門に新卒で入社後、グローバルマーケティング部門に移りロンドン・欧州全域の機関投資家営業に従事。ヘッジファンド勤務を経て2013年12月に株式会社 Finatext (現・株式会社 Finatext ホールディングス) を創業。金融に関する豊富な知識・経験を基盤に、誰にでも分かりやすいUI/UXに落としこみ、非常に短い期間で開発を行う技術力、総務省や日銀出身者、我が国を代表する統計学・経済学の研究開発陣によるビッグデータを活用した経済統計開発技術が強み。2021年12月、東証マザーズ市場にてIPO。*

JDSC
UPGRADE JAPAN

2021年12月 東証マザーズ市場にてIPO*

株式会社 JDSC 創業者

加藤 エルテス 聡志氏

宅配で不在配送先を
予測してルートを
最適化

P&G、マッキンゼー、米製薬メーカー等を経て、2014年に一般社団法人日本データサイエンス研究所 (現 株式会社 JDSC) を創設、代表に就任。同社の強みは東京大学の越塚研究室 (情報学環、IoT・データ活用)、田中研究室 (システム創生、AI・ブロックチェーン) などのアカデミアと連携し、AI、データサイエンス、機械学習など多様な最新技術を活用し、産業全体の課題解決を行う点。2021年12月、東証マザーズ市場にてIPO。*

FYUSION



2020年12月 米国 Cox Automotive 社が M&A

Fyusion, Inc 創業者

Radu B. Rusu 氏

手ブレ補正されたスムーズな
Fyuse 360°回転画像

ミュンヘン工科大学卒業。3D認識技術分野を世界的に牽引する第一人者。米国 Willow Garage 社を経て世界最大3D点群処理のオープン・ソース・プロジェクト「Point Cloud Library (PCL)」を設立後、2013年にFyusion社設立。ロボット研究からの高度な3D画像処理技術、センサー・フュージョン技術、人工知能技術を駆使した撮影技術により、圧倒的にスムーズな360°3D画像の描写を実現する。数多くの新技術の特許を取得し、2020年米国 Cox Automotive 社によりバイアウト。Fyusion 社の360°3D撮影技術は、Cox Automotive 社の様々な事業に貢献。

908devices



2020年12月 米国 Nasdaq 市場にてIPO

908 Devices Inc 創業者

Kevin J. Knopp 氏

M908: 世界初
小型携帯質量分析計

コロラド大学大学院卒業。2002年にAhura Scientific社を共同設立、2010年Ahura社売却までシニアバイスプレジデントを務め、売却後もポータブル光学分析部門のバイスプレジデント兼サイトリーダーを務める。化学分析の世界にイノベーションを起こすべく、2012年に908 Devicesを設立。これまで中央研究所でしか利用できなかった質量分析法を現場で活用できる世界を目指し、独自開発した特許技術を活用して質量分析計の小型携帯化を実現。2020年12月米国 Nasdaq 市場にてIPO。

*市場区分見直しに伴い、現在は東証グロース市場に上場



2019年12月 東証マザーズ市場にてIPO*

AI inside 株式会社 創業者

渡久地 択 氏

2004年より人工知能の研究開発をはじめて以来10年以上にわたって継続的な人工知能の研究開発とビジネス化・資金力強化を行い、2015年にAI inside社を創業。画像処理/DNNによるOCRエンジン用教師データを無限に生成できる独自の仕組みを開発、業界No.1の読み取り精度を実現。レイアウト認識から自然言語処理まで全てをAIで行い、フリーフォーマットや乱筆文字、デザインフォントに対しても高い精度で読み取れることを可能とした。2019年12月、創業5期目で東証マザーズ市場にてIPO。*

同社製品
DXSuiteの利用画面



2019年2月 MBO

株式会社MUJIN 創業者

滝野一征 氏

米国大学卒業後、ウォーレンバフェットの会社として有名な製造業イースカル社にて技術営業として多くの賞を獲得。2011年に世界的ロボット工学の権威であるロセン博士と株式会社MUJINを創業。世界一の産業向けモーションプランニング技術をもとに、知能ロボットコントローラ「MUJINコントローラ」を中心とする知能ロボットソリューションを提供、物流、製造業界の現場で、今まで自動化不可能だった分野をロボット化に成功し、生産性の大幅な向上を達成。2018年JD.com社でロボット20台による世界初全自動倉庫を実現。2019年2月にMBO。

京東社のロボットによる
世界初の全自動倉庫



2018年12月 東証マザーズ市場にてIPO*

株式会社ACSL 代表取締役（当時）

太田 裕朗 氏

京都大学大学院航空宇宙工学助教、カルフォルニア大学サンタバーバラ校中村修二教授研究グループ研究員、マッキンゼー・アンド・カンパニーを経て、2016年に株式会社ACSLCOOに就任、2018年より現任。「技術を通じて、人々をもっと大切なことへ」を信念に、“自ら考えて飛ぶ”制御をコア技術とする産業用ドローンを活用したインダストリアル向け無人化・IoTシステム構築を展開。物流を初め、トンネル・水道管や橋梁、船内の点検、内閣府の要請による被災現場での活用等、様々なプロジェクトを推進。2018年12月に東証マザーズ市場にてIPO。*

完全国産の産業用
プラットフォーム機体



2017年9月 香港上場 O Luxe Holdingsと資本提携

GLM株式会社 創業者

小間 裕康 氏

株式会社コマエンタープライズ設立、国内外の家電メーカーへのビジネスプロセスアウトソーシング事業を展開し、年商20億円に成長させる。2010年京都大学の『京都電気自動車プロジェクト』を母体として現GLM株式会社設立。2014年ベンチャーとして初の量産EVスポーツカーの国内認証を取得、2015年「トミーカイラZZ」の量産を開始。2016年次世代車両「GLM G4」発表。2017年9月香港上場企業のO Luxe Holdingsと資本提携し、欧州・中東・中国へのグローバル展開を目指す。

トミーカイラZZ



アラムナイ

国内外の第一線で活躍されてきた UTEC アラムナイ (卒業生) の方々

* 市場区分見直しに伴い、現在は東証グロース市場に上場

** 市場区分見直しに伴い、現在は東証プライム市場に上場



2015年5月 バイドゥ株式会社がM&A

popIn 株式会社 創業者

程 涛 氏

issin 株式会社の
「スマートバスマット」

東京大学情報理工学研究科の修士課程での発明をビジネス化するため、2008年、修士在学中に popIn を起業。新たな記事コンテンツの評価指標「READ」を2014年にリリース、レコメンドサービスと共に日本、韓国と台湾の500以上の大手メディアサイトに採用される。2015年5月中国最大の検索エンジンを運営する百度(バイドゥ)と経営統合。現在は2社目となる issin 株式会社を創業、再び UTEC から投資を受ける。同社では、日常生活に溶け込んだヘルスケア商品とサービスを開発。2022年、風呂上がりに体重を測定できる「スマートバスマット」の販売を開始。

2013年6月 東証マザーズ市場にてIPO
2015年12月 東証一部に上場**

ペプチドリーム株式会社 創業者

窪田 規一 氏

特殊ペプチドと
ターゲットとの結合

日産自動車株式会社、現株式会社エスアールエル、株式会社ジェー・ジー・エス代表取締役社長を経て、2006年、東京大学菅裕明教授の Flexizyme 技術をコアとするペプチドリーム株式会社を設立、代表取締役社長を務めた。同社独自の創業開発プラットフォームシステムにより、多様性が極めて高い特殊環状ペプチドを多数合成し高速で評価することで、重要なヒット化合物の創製やリード化合物の選択等を簡便に行うことができる。2013年東証マザーズ市場にてIPO、2015年東証一部に上場。** 第2回「日本ベンチャー大賞」受賞。



2011年9月 株式会社ミクシィがM&A

ネイキッドテクノロジー株式会社 創業者

朝倉 祐介 氏

創立時の写真



競馬騎手養成学校、競走馬の育成業務を経て東京大学法学部を卒業後、マッキンゼー・アンド・カンパニーに入社。東京大学在学中に設立したネイキッドテクノロジーに復帰、代表に就任。独自に開発した携帯電話向けアプリケーション開発プラットフォーム「Colors」を用いた複数の通信キャリアの端末に対応するモバイル・アプリの開発で実績を積み、2011年9月、ミクシィ社へ売却。



2011年7月 東証マザーズ市場にてIPO*

株式会社モルフォ 創業者

平賀 督基 氏

手ブレ補正技術



東京大学大学院理学系研究科情報科学専攻(博士課程)修了後、2004年、画像処理技術の研究開発や製品開発を行う株式会社モルフォを設立、代表取締役就任。コンピューターサイエンスは実学であるという信念に基づき、最先端の研究をただ理論で終わらせるのではなく、社会のニーズに適応させ活かすことを志向し創業。現在はグローバルスマートフォンメーカーに各種画像処理ソフトを提供、車載や監視カメラ、ネットワークサービスへの展開を推進。2011年7月、東証マザーズ市場に上場。*



2010年8月 ヤフー株式会社がM&A

株式会社シリウステクノロジーズ 創業者

宮澤 弦 氏

2004年、東京大学卒業直後に株式会社シリウステクノロジーズを創業、代表取締役
に就任。位置情報に応じてモバイルページ上に近店舗のテキスト広告を配信する
ローカル広告配信サーバーを開発し、ローカルリスティング広告サービス『アドローカル』を世界に先駆けて展開。2010
年8月、ヤフー株式会社がM&A。

広告主が設定した
エリアの近くにいる
ユーザーに広告が
表示される仕組み



UTEC
Portfolio
Companies

Team

多様なバックグラウンドを持つプロフェッショナルによるサポート

Investment Professional

Tommy
Goji



郷治 友孝

代表取締役社長 CEO
マネージングパートナー

ファンド運営及びベンチャー投資全般の統括

- 2004年4月株式会社東京大学エッジキャピタル共同創業以来、UTEC1号から5号までの投資事業有限責任組合(計約850億円)のベンチャーキャピタルファンドの設立・運営、UTECのチームビルディング、UTEC投資先の投資、育成及びエグジットの指導を担ってきた。これまでに20社がM&A等、20社が株式上場を果たす。
- 前職の通商産業省(現経済産業省)において、我が国のベンチャーキャピタルファンドの根拠法となった投資事業有限責任組合法(1998年制定)や、スタートアップの研究開発を促進する中小企業技術革新制度(SBIR)(1999年制定)を起草。文化庁で著作権等管理事業法(2001年制定)、金融庁で信託業法(2003年制定)の起草に携わった後、技術シードからのベンチャー投資に投資事業有限責任組合法の理念を実践するため退官。
- 東京大学法学部卒、スタンフォード大学MBA。データサイエンスを活用して大量の研究論文から研究開発型スタートアップの創業機会を探索するモデルを開発し、東京大学博士(工学)。
- 日本ベンチャーキャピタル協会において、2015年7月より常務理事、2022年7月より副会長、2023年7月より会長。

1996年4月通商産業省(現経済産業省)入省、2004年4月UTEC共同創業に当たり退官。東京大学法学部卒、スタンフォード大学経営学修士(MBA)、東京大学博士(工学)。日本ベンチャーキャピタル協会(JVCA)会長。

Nori
Sakamoto



坂本 教晃

取締役 COO
パートナー/マネージングディレクター

IT/AI, Life Science & Healthcare, Finance

- 経済産業省では、中小企業金融やリサイクル関連法案の作成業務や未踏ソフトウェアプロジェクトに従事。退官後、アパレル流通のファミリービジネスに参画し、新規事業立上げ及び事業整理を実施。
- McKinsey & Company では、日本・東南アジア・欧州を中心に製薬、医療機器、自動車、ハイテク、消費財、金融機関等の業界各社へのプロジェクトに従事。
- これまで(株)ACSL(2018年12月東証マザーズ上場*: 6232)やRepertoire Genesis(株)(Eurofins Scientific SEによるM&A)等の社外監査役、ニューラルポケット(株)(2020年8月東証マザーズ上場*: 4056)、(株)JDSC(2021年12月東証マザーズ上場*: 4418)、(株)Finatextホールディングス(2021年12月東証マザーズ上場*: 4419)、Institution for a Global Society(株)(2021年12月東証マザーズ上場*: 4265)、(株)ELEMENTS(2022年12月東証グロース上場*: 5246)等の社外取締役を務めた。

東京大学経済学部卒業後、経済産業省入省。2008年経済産業省退官、流通事業会社の副社長を経て、コロンビア大学経営学修士(MBA)。McKinsey & Companyを経て、2014年8月にUTEC参画。日本ベンチャーキャピタル協会(JVCA)企画部長。

Atsushi
Usami



宇佐美 篤

取締役パートナー

Life Science & Healthcare

- ライフサイエンス分野を中心とするシード/アーリーステージ投資を担当。
- これまでにRepertoire Genesis(株)(Eurofins Scientific SEがM&A)、オリシロジェノミクス(株)(Moderna, Inc. がM&A)の投資を手掛けた。
- 現在、投資先のエディットフォース(株)、BUGWORKS RESEARCH, INC.、bitBiome(株)、セレイドセラピューティクス(株)、PURMX Therapeutics(株)、ユナイテッド・イミュニティ(株)、レグセル(株)の社外取締役等を兼任。
- (一社)ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン(LINK-J)のサポーター等を行う。
- 2023年 第23回 Japan Venture Awards ベンチャーキャピタリスト奨励賞 受賞。

東京大学大学院薬学系研究科生命薬学専攻にて、博士号取得、薬剤師。(株)三菱総合研究所にてコンサルティング業務に従事した後、2013年10月よりUTECに参画。

* 市場区分見直しに伴い、2022年12月現在は東証グロース市場に上場

** 市場区分見直しに伴い、2022年12月現在は東証プライム市場に上場

Keisuke
Ide

井出 啓介

パートナー

Physical Science & Engineering, IT

- シリコンバレーでのエンジニアや経営コンサルティング経験を含む15年の米国滞在後、東京のベンチャー企業を経てベンチャーキャピタル業界に入る。
- フィジカルサイエンスやIT分野、特にアカデミア発ベンチャーへの投資に従事。
- リード投資家として日・米投資先の社外取締役を務める。米国 Liminal Insights、Nelumbo Inc、日本 RICOS、Algalbio、他。
- これまでGLM(株)(海外上場企業によるM&A)、AI inside(株)(東証IPO)、(株)IID(東証IPO)のリード投資家として社外取締役を歴任。また、米国Google Inc. による(株)フィジオス買収ではディール開発から交渉まで実行した。
- Forbes Japan Midas List、日本ベンチャーアワードキャピタリスト賞受賞。JVCAベンチャーキャピタリスト研修講師を務める。

半導体製造装置エンジニア(KLA)、経営コンサルティング(The McKenna Group)、ベンチャー企業(IPFlex)等を経てGlobis Capital Partnersでコアテック投資を実施。DMP(TSE3652)、Phyzios(MA by Google Inc.)、IID(TSE 6038)をリード投資家として担当した後、2015年 UTEC 参画。
バージニア大学工学部BS (Tau Beta Pi)
スタンフォード大学工学部MS (Honors)

Hiroaki
Kobayashi

小林 宏彰

プリンシパル

Healthcare, MedTech, IT, Life Science, etc.

- 2019年8月よりUTEC参画。ヘルスケア、IT、ライフサイエンス等における投資を担当。
- 現在、TXP Medical、メトセラ、メドコム、Red Arrow Therapeutics、Enterasense等の社外取締役・監査役を務める。
- 前職では、医療機器業界においてスタートアップ、大手メーカーにおいて、国内外での製造や販売等に関するアライアンス構築、アカデミアとの連携、KOLマネジメント、製品市場導入戦略など多様な業務を経験。
- それ以前は救急集中治療医として6年間東京大学附属病院及び関連病院で臨床・教育業務に従事。

東京大学医学部卒業後、同附属病院、日立製作所日立総合病院等で救急集中治療医として勤務。医療機器ベンチャーJOMDDを経て、フルブライト奨学生としてミシガン大学経営大学院(MBA)に留学。帰国後、大手医療機器メーカーでの事業開発本部を経て2019年8月にUTEC参画。

Kiran
Mysore

キラン マイソール

プリンシパル

AI/IT, Healthcare, Physical Sciences

- AI研究者からベンチャーキャピタリストに転身し、2018年1月よりUTECに参画。IT分野、Healthcare、Physical SciencesにおけるAIの応用を含むAI分野のシード/アーリーステージ投資を担当。現在 Eureka Robotics、Peach Cars、Tricog Health、Bugworks Research、OPALai、Obviously AI、SWAT Mobility、Liminal Insights、Blume Ventures等の取締役またはオブザーバーを務める。過去には2021年10月にCoinbaseにM&AされたAgara (PM Labs) の取締役を務めた。
- UTEC参画前は、デロイトトーマツベンチャーサポート(株)において、インド・東南アジアオペレーションヘッド。アジア全域において50社以上のDeep Techスタートアップ企業に対し日本企業とのコラボレーション等をサポート。また経済産業省とも密接に連携しながら、アジアのスタートアップ企業のためのCEATEC IoT Accelerationプロジェクトを主導。自身で学生主導のベンチャー企業Kriyaを共同創業した経験を有する。
- Stanford ASES (USA)、St. Gallen Symposium (Switzerland) および Yenching Academy (China)においてYoung Global Leaderに選出。2020年、Finance & Venture Capital部門にてFORBES Asia 30 Under 30に選出。

DTVSにおいてインド・東南アジアオペレーションを主導し、ベンチャー企業Kriyaを共同創業。2013年、スタートアップで急成長中のオンライン旅行会社、Cleartrip Indiaにおいて企業分析を担当。2016年東京大学TMIの修士を卒業。Deep Learningを専門とし2017年にPICMETにおいて論文がパブリッシュ。東京大学工学部(SEUT)フルスカラーシップ受賞。

Investment Professional

Lenny
Chin



陳 嘉洋

プリンシパル

IT, Physical Science & Engineering

- 2021年7月より UTEC 参画。
- AI、量子技術など破壊的イノベーションの創出を目指す技術領域におけるシード/アーリーステージ投資を担当。
- 現在、投資先の Oxford Quantum Circuits、Quanmatic、obniz、RICOS、forest、issin ホールディングスの社外取締役・監査役を務める。
- 前職のレノボ・ジャパンでは、営業戦略部長として NEC 製品に関する大手家電量販店向け営業戦略立案・実行、オペレーション構築に従事。
- それ以前は、PwC 事業再生部門にて窮境企業のターンアラウンドに従事し、主に大手グローバル企業の海外事業再建支援を実施。

カリフォルニア大学サンタバーバラ校 College of Creative Studies 数学科卒業。PwC アドバイザリー合同会社の事業再生部門、レノボ・ジャパン(株)を経て、カリフォルニア大学ロサンゼルス校経営学修士(MBA)。同校卒業後、2021年7月に UTEC 参画。

Atsushi
Shimada



島田 淳司

プリンシパル・弁理士

Life Science & Healthcare

- 2018年 UTEC に参画。主に、ライフサイエンス分野の投資、投資先の経営支援を行う。事業開発、経営戦略、知財戦略を得意とする。
- 武田薬品工業(株)では、知的財産部において Amgen Japan や Nycomed などの M&A 案件や多くの製品ライセンス案件のデューデリジェンスを担当。米国イリノイ州の Takeda Pharmaceuticals International の Global Licensing and Business Development では、Director としてバイオベンチャーとのライセンス案件に従事。
- バイエル薬品(株)経営企画本部においては新規医薬品のライセンスイン、ノンコア製品のライセンスアウト、ライセンス対象の製品スクリーニング、ディール締結後のアライアンスマネジメントに従事。
- 国内大手特許法律事務所では、国内外のバイオベンチャー、製薬会社の知的財産業務に従事した。
- 特許庁 IPAS ビジネスメンター、その他、セミナー講師多数。IP Base Award 奨励賞受賞。

国内大手特許法律事務所、武田薬品工業(株)、Takeda Pharmaceuticals international 出向、バイエル薬品(株)に勤務。2018年より UTEC にベンチャーパートナーとして参画。大阪大学工学部卒業、IE ビジネススクール修了。弁理士。情報セキュリティアドミニストレータ。

Azusa
Shiohara



塩原 梓

プリンシパル

Life Science & Healthcare

- 2021年9月より UTEC 参画。
- バイオテック、ヘルスケア分野を中心にシード/アーリーステージの投資業務を担当。
- UTEC 参画以前には、アーサー・ディ・リトルにて、ヘルスケアチームのマネジャー。製薬企業・医療機器企業を中心に、新規事業戦略、R&D 戦略など様々なプロジェクトに従事。
- 東京大学薬学部卒、同大学院薬学系研究科修了、ロンドン・ビジネス・スクール経営学修士(MBA)。

東京大学薬学部卒、同大学院薬学系研究科修了。神経領域の生化学研究に携わる。アーサー・ディ・リトルを経て、ロンドン・ビジネス・スクール経営学修士(MBA)。2021年9月に UTEC 参画。

HyungKyu
Shin



申 炯圭

アソシエイト

IT/AI, Life Science & Healthcare, Finance

- 2022年12月よりUTEC 参画。
- UTEC参画以前は三菱UFJモルガン・スタンレー証券／モルガン・スタンレー（東京及び香港）のM&A及びTMTチームにて投資銀行業務に約6年間従事。M&A アドバイザリー、資金調達（Equity、Debt）や企業価値向上に向けたディスカッションに至るまで幅広い範囲に渡って投資銀行業務全般を経験。
- 韓国にて高校卒業後、文部科学省（MEXT）国費留学生として渡日。
- 東京大学経済学部卒

東京大学経済学部卒
三菱UFJモルガン・スタンレー証券／モルガン・スタンレー（東京及び香港）の投資銀行部門を経て、2022年12月にUTEC 参画。

Hiroki
Toda



戸田 広樹

アソシエイト

Physical Science & Engineering

- 2023年5月よりUTECに参画。主にフィジカルサイエンス領域の投資及びビジネスのサポートを担当。
- UTEC参画以前は、ベイン・アンド・カンパニーにて、PEファンド向けのDD、消費財企業のコストカット案件に従事。
- 東京大学工学部卒、同大学院工学系研究科博士課程修了。研究テーマはアンモニアの酸化反応であり、Nature Chemistry誌に第一共著者として論文を投稿。工学系研究科長賞（研究）を受賞

東京大学工学部卒、同大学院工学系研究科博士課程修了。
工学系研究科長賞（研究）
日本学術振興会特別研究員（DC2）
ベイン・アンド・カンパニーを経て、2023年5月UTECに参画

Team

Platform

Takashi
Miyahara



宮原 崇

プラットフォームディレクター/プリンシパル

Platform, Value-add

- 2022年より UTEC に参画。
- プラットフォームディレクターとして、投資先の Value Add を行うベンチャーパートナーおよび HR チームを統括。投資先のハンズオンをビジネス、ファイナンス、HR、知財、オペレーション等の側面から多面的に行う。
- また、投資部プリンシパルとして、Datafluct、アダコテックの社外取締役、ONIGO の監査役を勤める。
- UTEC 参画以前は、マネーフォワードで B2B SaaS 事業を執行役員として統括し IPO に貢献し、Facebook (現 Meta) や Amazon において事業責任者を歴任。

北海道大学経済学部卒業後、伊藤忠商事に入社。水産部営業、欧州駐在を経た後、IBM ビジネスコンサルティングサービス (現日本 IBM) にて数社の PMI をリード。GREE にて新規事業開発室室長、マネーフォワードにて B2B SaaS 事業を立ち上げ、執行役員として同社の IPO に貢献。Facebook (現 Meta) にて新規事業の日本責任者、Amazon では家電・オフィス用品の販売事業者サービスの責任者に従事。

HR

Maiko
Iinuma



飯沼 舞子

HR マネージャー

Human Resources

- 2021年9月より、UTEC 参画。IT 分野を中心に、投資先の組織開発、経営者候補の採用を含む人事活動全般を支援。
- IBM にてシステムエンジニア及びソフトウェアマーケティング職を経て、エグゼクティブサーチファームに参画。テクノロジー、コンシューマグッズ領域のアソシエイトとして、国内外のクライアントに対する経営人材の外部招聘に従事。
- 前職では、データ活用の IT スタートアップにてバックオフィスの初期メンバーとして参画。その後、人事採用担当マネージャーを務める。

慶應義塾大学文学部卒業。IBM にてシステムエンジニア及びソフトウェアマーケティング職を経て、エグゼクティブサーチファームに参画。アソシエイトとして、テクノロジー及びコンシューマグッズ領域を担当。前職では、データ活用のスタートアップにてバックオフィスの初期メンバーとして参画。その後、人事採用担当マネージャーを務める。2021年9月より、UTEC HR チームに参画。

PR

Madoka
Noma



野間 円

プラットフォームアソシエイト

PR and Community

- 2021年よりインターンとして UTEC に参画し、主に UTEC の PR および投資先支援を担当。2023年より現職。
- UTEC 参画以前は、東京大学工学系研究科にて、専門である化学工学の知見を活かし、再生医療分野で大手化学系メーカーと共同研究を行う。
- 東京大学工学部長賞 (金賞) 受賞。

東京大学工学部卒業・同大学院工学系研究科修了。専門である化学工学の知見を活かし、再生医療分野で大手化学系メーカーと共同研究を行う。東京大学工学部長賞 (金賞) 受賞。毒物劇物取扱責任者。

HR



Kiyomi
Tominaga

富永 清美

HR アシスタント

Human Resources

- 2023年6月より UTEC に参画。投資先の HR サポートのアシスタントを担当。
- 前職の AI スタートアップでは人事総務部で労務、外国籍社員の相談窓口を担当。それ以前は日本語講師派遣会社で講師兼人材コーディネータ、外資アパレルで人事に従事。

日本語講師派遣会社にて講師兼人材コーディネーターを8年間務めたのち、米系アパレル、AI スタートアップで人事総務職に従事。2022年に UTEC と臨時業務を開始し、翌2023年6月参画。中国北京語言大学卒。

HR



Hirofumi
Oki

沖 大典

HR スペシャリスト

Human Resources, Executive Talent

- 2018年 UTEC 参画。シニアマネージャーとして、国内外の投資先の経営チーム組成を行う HR Team の立ち上げ及び同チームのマネジメントを主導。2023年よりベンチャーパートナーとして、米国より投資先の支援及び海外経営人材のソーシングに従事。5年間で CEO/共同創業者を含む 150 名以上の経営人材を輩出し、海外を含めた複数の IPO・M&A に携わる。70 社以上の投資先に対し、組織戦略・リーダーシップ開発・経営人材のアセスメントなど多岐にわたるサポートを提供。創業前からのチームビルディング含めた共同創業案件にも携わる。また、Life Science, Physical Science, IT 領域のエグゼクティブを集めた UTEC 独自の経営者タレントプール「UTEC Startup Opportunity Club」の設立も主導。
- 前職では、英系のエージェンシーでバイオベンチャーチームの立ち上げとそのリードを担当。ヘルスケア領域での経営人材の採用とキャリアコンサルティングに従事。

学生時代から、ベンチャーに特化した組織・人事コンサルティングのスタートアップに就業。Web/IT 業界の経営人材のヘッドハンティング、ヘルスケアベンチャーへの採用コンサルティングを経て、2018年8月に UTEC HR マネージャーとして参画、現在は UTEC ベンチャーパートナーとして関与。

Team

Administration

Hiroyuki
Sakita



崎田 博之

管理部長

Administration

- ファンド管理、投資家対応、会社の管理業務全般を担当。
- 有限責任監査法人トーマツではマネージャーとして、上場会社・上場準備会社の監査業務、上場準備やM&Aのための各種調査業務、業務プロセス構築・事業計画策定等のアドバイザー業務に従事。
- スタートアップにてファイナンス、経理・人事総務・法務等のコーポレート業務全般に従事。

2007年 監査法人トーマツ(現有限責任監査法人トーマツ)入所。マネージャーとして監査業務・アドバイザー業務に従事。スタートアップでのファイナンス業務・コーポレート部門立ち上げを経て、2018年1月より UTEC に参画。公認会計士。

Fumi
Yoshioka



吉岡 ふみ

マネージャー

Administration

- ファンド管理、投資家対応、PR等を担当。
- 有限責任監査法人トーマツでは、投資事業有限責任組合・上場会社・上場準備会社の監査業務、上場準備のための各種調査業務等に従事。
- 会計・税務のアウトソーシング&コンサルティング会社にて法人・組合等の経理、税務業務に従事。

監査法人トーマツ(現有限責任監査法人トーマツ)にて監査業務等に従事。会計・税務事務所を経て、2014年より UTEC に参画。京都大学経済学部卒業。公認会計士。

Kiyoaki
Takamori



高森 清明

マネージャー

Administration

- 2021年11月より UTEC 参画。ファンド管理業務を担当。
- UTEC 参画以前はファンド管理のサービスプロバイダーである WM Fund Associates(株)にて、ファンドレイズやファンド運営に関わる管理業務、システム開発を中心に従事。
- それ以前はベンチャー企業にて、経理部長として経理・財務業務や組織再編プロジェクトに従事。

事業会社の経理財務業務に10年携わり、2017年より WM Fund Associates(株)にマネージャーとしてファンド管理業務に従事。2021年11月より UTEC 参画。中央大学大学院国際会計研究科修了。

社外役員

茂木 敬司 Keiji Mogi

取締役会長

- 1964年上智大学外国語学部卒業、翌年ルーバン・カトリック大学修士課程ベルギー政府給費留学。
- 三井銀行(現三井住友銀行)にて、会長秘書、ニューヨーク支店副支店長、ブラッセル支店長等を経て、さくら銀行(現三井住友銀行)取締役、さくらカード(株)代表取締役副社長、ソニー生命保険(株)執行役員専務、英国Bridgepoint Capitalアドバイザー等を歴任。2007～2012年、帝京大学経済学部経済学科教授として教鞭を取る。
- 2006年より英国VenCap Internationalアドバイザーを務める。2010年6月、当社取締役(社外)に就任。

高橋 浩之 Hiroyuki Takahashi

監査役(社外)

- 1985年東京大学工学部原子力工学科卒、1989年東京大学工学部原子力工学科助手、国際交流室講師、東京大学人工物工学研究センター助教授、高エネルギー加速器研究機構物質構造科学研究所併任助教授を経て、2005年より東京大学原子力国際専攻教授、2014年より東京大学工学系研究科長特別補佐、生産技術研究所研究担当、2017年より東京大学工学系研究科社会連携・産学協創推進室長、東京大学産学協創推進本部副本部長を務める。2012年より日本学術振興会産学協力研究委員会第186委員会副委員長を務める。

平野 正雄 Masao Hirano

取締役(社外)

- 1980年東京大学大学院工学系研究科反応化学科修士。スタンフォード大学大学院工学系経済工学修士、東京大学大学院工学博士。
- 1980年、日揮(株)入社。1987年マッキンゼー入社、1993年マッキンゼー全社パートナー就任、1998年全社ディレクター(シニア・パートナー)、マッキンゼー日本支社長就任。2007年、カーライル日本共同代表に就任。
- 2012年より早稲田大学商学学術院(ビジネススクール)教授として教鞭をとる。日本ビジネスモデル学会会長。

中本 和樹 Kazuki Nakamoto

監査役(社外)

- 1976年大阪大学理学部数学科卒業。
- 1976年、大同生命保険相互会社入社。1998年同社取締役就任、2001年同社常務取締役就任、同社取締役常務執行役員、取締役専務執行役員就任を経て、2008年同社代表取締役専務執行役員就任。2010年同社常任監査役就任、2014年同社退任。
- 現在、学校法人近畿大学資産運用委員会委員、(株)クロスポイント・アドバイザーズ顧問。

Christina L. Ahmadjian

取締役(社外)

- 1981年ハーバード大学卒業後、1982年三菱電機(株)入社。1987年スタンフォード大学ビジネス・スクール経営学修士課程修了、1995年カリフォルニア大学バークレー校ハース・スクール・オブ・ビジネス博士課程修了し、1995年コロンビア大学ビジネス・スクール助教授、一橋大学大学院経営管理研究科教授を経て、2022年一橋大学名誉教授および立教大学経営学部国際経営学科特任教授。
- 2009年より、エーザイ(株)、三菱重工業(株)、(株)日本取引所グループ、住友電気工業(株)、アサヒグループホールディングス、日本電気(株)、日本特殊陶業(株)の社外取締役に就任。日本在住25年超。米国籍。

MEMO



MEMO





株式会社東京大学エッジキャピタルパートナーズ

〒113-8485 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学南研究棟3F

Tel 03-5844-6671

Fax 03-5844-6672

Mail info@ut-ec.co.jp

Web <https://www.ut-ec.co.jp>

The University of Tokyo Edge Capital Partners Co., Ltd.

7-3-1, Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo, 113-8485, Japan

Tel +81-3-5844-6671

Fax +81-3-5844-6672

Mail info@ut-ec.co.jp

Web <https://www.ut-ec.co.jp>